

# 中小企業景況調査報告書

(第101回)

平成18年 1 ~ 3 月期 実績

平成18年 4 ~ 6 月期 見通し

平成18年 4 月

北海道商工会議所連合会

# 目 次

． 調 査 要 領	
1． 調査時点及び調査対象期間	1
2． 調査対象	1
3． 調査地域及び調査方法	1
4． 業種別・規模別回答状況	1
． 概 況	2
1． 今期の業況	
(1) 今期の業況	6
(2) 今期の売上高	8
(3) 今期の採算（経常利益）	9
(4) 今期の資金繰り	11
(5) 今期の経営上の問題点	12
(6) 今期の従業員の動向	12
(7) 今期の新規設備投資	13
2． 来期の見通し	
(1) 来期の業況	14
(2) 来期の売上高	15
(3) 来期の採算（経常利益）	15
(4) 来期の新規設備投資	16
． 業 種 別 の 動 向	
1． 製 造 業	16
2． 建 設 業	18
3． 卸 売 業	20
4． 小 売 業	21
5． サービス業	23
． 業 種 別 調 査 資 料	25

# ・ 調 査 要 領

## 1. 調査時点及び調査対象期間

- (1) 調 査 時 点 平成18年 3 月
- (2) 調 査 対 象 期間 平成18年 1 ~ 3 月期実績及び平成18年 4 ~ 6 月期の見通し

## 2. 調 査 対 象

### (1) 中小企業景況調査

「製造業・建設業」については、資本金3億円以下、又は従業員300人以下の企業、「卸売業」については、資本金1億円以下、又は従業員100人以下の企業、「小売業」については、資本金5千万円以下、又は従業員50人以下の企業、「サービス業」については、資本金5千万円以下、又は従業員100人以下の企業を対象とした。

### (2) 業界動向調査

商工会議所の景気判断

道内各地商工会議所が相談指導業務等を通じて得られる地域の特徴的事例

「製造業」「建設業」「卸売業」「小売業」「サービス業」の各業界組合・企業が肌で感じる生の声を収集した。

## 3. 調査地域及び調査方法

- 全道商工会議所地域の中小企業に対しアンケート調査を実施（中小企業景況調査）
- 全道商工会議所を通じて地域の業界組合等へヒアリング調査を実施（業界動向調査）

## 4. 業種別・規模別回答状況（社数）

### (1) 中小企業景況調査

	製 造 業	建 設 業	卸 売 業	小 売 業	サービ業	合 計
小 規 模	46	56	48	76	52	278
中 規 模	16	14	36	20	21	107
合 計	62	70	84	96	73	385
構成比(%)	16.1	18.2	21.8	24.9	19.0	100.0

### (2) 業界動向調査

- ・業界動向ヒアリング先 製造業 22社、建設業 15社、卸売業 13社、  
小売業 21社、サービス業 26社、合計 97社

本調査結果中の「D・I」とある記号は、ディフュージョン・インデックス（Diffusion Index）の略で、各調査項目についての増加（好転・上昇）企業割合から減少（悪化・低下）企業割合を差引いた値（景気動向指数）を示す。

ホームページ：URL <http://www.hokkaido.cci.or.jp/keiki/>

# 概 況

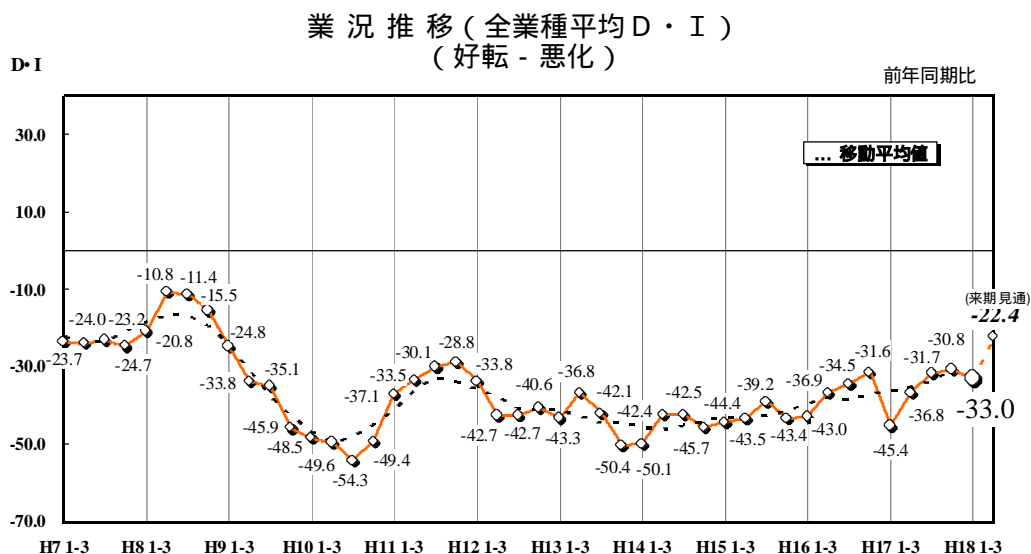
## - 前期比ベースで業況悪化(1月～3月期) -

### 今期の業況

四半期毎に実施している、中小企業景況調査の今期（1月～3月期）の全業種平均D・I値（「好転」と答えた企業と「悪化」と答えた企業の割合の差）は、前期比ベースでは 37.6と悪化しており、さらに前年同期比ベースでも、 33.0と前回調査時の水準（ 30.8）よりマイナス幅が2.2ポイント拡大している。

業種別で見ると、前期比ベースでは、季節的な要因などから全ての業種においてマイナス幅が拡大した。また、前年同期比ベースでは、卸売、小売の2業種でマイナス幅を拡大した。

業界動向調査での企業の声は、製造業からは「原油価格高騰の影響による原材料価格の上昇」「燃料費の上昇」などによる採算の悪化、建設業からは「官公需要の停滞・請負単価低下」などによる売上の減少や「材料仕入単価の上昇」などによる採算の悪化、「耐震構造虚偽申請問題による影響の懸念」などの声が寄せられている。また、卸売業からは「低温・大雪での荷動きの鈍化」「客単価低下・低価格の恒常化」による売上の減少や「石油関連製品の仕入価格上昇」などによる採算の悪化、小売業では「客単価の低下」「顧客の大型店への流出」などによる売上の減少や「仕入価格の上昇」「大雪の影響による光熱費等の増加」などによる採算の悪化、さらに、サービス業では「大雪による客足の減少」などによる売上の低下や「燃料費の高騰」による採算の悪化などの声が出ている。



来期の業況見通しでは、全業種平均D・I値で、今期の水準より10.6ポイントマイナス幅が縮小し 22.4と改善を見込んでいる。

経営上の問題点として各企業が1位に挙げているのは、景気の低迷による「需要の停滞」が全業種で大きなウエイトを占めるが、加えて、原材料価格の上昇（製造）、請負単価の低下・上昇難（建設）、販売単価の低下・上昇難（卸売）、大型・中型店進出競争の激化（小売）、熟練従業員の確保難（サービス）、などとなっている。

設備投資については、景気の低迷による先行き不透明感などから、依然、慎重な動きが続いている。

### 産業別の動向

【製造業】 [業況D・I値（前年同期比） 22.6（前期 22.9、来期見通し 11.5）]

業況D・I値（前年同期比）は、前期より0.3ポイントマイナス幅が縮小した。業界組合・企業よりのコメントでは、依然「原油価格高騰の影響による原材料価格の上昇」「燃料費の上昇」による採算悪化の声が多いが、一部の企業からは「道外からの受注が増加」「本州方面の景気拡大の影響により受注増加」などという声も寄せられている。

〔主なコメント〕

- ・消費低迷により売上は減少、原材料単価の上昇で採算も悪化した。（食料品）
- ・道外からの受注増により売上は増加したが、採算面では原材料及び原油高によるコストアップの影響が大きく改善が見られない。（食料品）
- ・本州方面の景気拡大の好影響による受注増や、新製品開発効果により売上額は増加、採算、業況は好転した。（プラスチック）
- ・原料や重油の高騰により経常利益は悪化、需要の減少が売上の減少に直結している。（化学）

【建設業】 [業況D・I値（前年同期比） 31.5（前期 32.4、来期見通し 19.6）]

業況D・I値（前年同期比）は、前期より0.9ポイントマイナス幅が縮小した。しかし、業況は依然厳しい状況で推移している。

業界組合・企業よりのコメントでは依然「官公需要の停滞・請負単価低下」による売上の減少、「材料仕入単価の上昇」により採算悪化を訴える声が多い。また、一部では「耐震構造虚偽申請問題による今後の影響」を懸念する声が出ている。

〔主なコメント〕

- ・官公需要の停滞、請負単価の低下により、完成工事（請負工事）額は減少、材料仕入単価の上昇などから採算、業況ともに悪化した。（一般土木工事業）
- ・ゼロ国債の発注が始まるが、公共事業は縮減を続けており、また民間需要も低迷し、業況は厳しい。（一般工事）
- ・公共事業の縮小による売上の減少が続く中、先行きが見えない状況が続いている。（建設）
- ・耐震構造虚偽申請事件が道内でも発覚したため、今後の影響が懸念される。（一般工事）

【卸売業】 [ 業況D・I値（前年同期比） 35.7（前期 21.2、来期見通 23.2） ]

業況D・I値（前年同期比）は、前期より14.5ポイントマイナス幅が拡大した。業況は依然厳しい状況で推移している。

業界組合・企業よりのコメントでは、「低温・大雪で荷動きが鈍い」「客単価低下・低価格の恒常化」による売上の減少の他、「石油関連製品の仕入価格上昇」による採算の悪化を訴える声が出ている。

〔主なコメント〕

- ・繊維卸業界は春物の納品期であるが、2月の低温及び大雪等で荷動きが悪く苦戦。（卸売）
- ・消費の低迷、低価格の恒常化により、売上は減少、採算も悪化した。（海産物）
- ・消費の低迷、客単価の低下により、売上は減少した。（衣料）
- ・大雪の影響により、売上は減少した。（建築材料）
- ・前年同期に比べて売上、収益ともわずかながら上昇した。利益率については、原油高騰の影響による石油関連製品の仕入価格の上昇により低下傾向にある。（農業資材）

【小売業】 [ 業況D・I値（前年同期比） 38.6（前期 37.2、来期見通 21.9） ]

業況D・I値（前年同期比）は、前期より1.4ポイントマイナス幅が拡大した。

業界組合・企業よりのコメントでは、「客単価の低下」「顧客の大型店への流出」などによる売上の減少、「仕入価格の上昇」「大雪の影響から光熱費等の増加」などによる採算の悪化などを訴える声が多い。

〔主なコメント〕

- ・依然、取引単価（客単価）は減少傾向にあり、売上も減少している。好転の材料も無く、採算悪化の状況は変わらない。（小売）
- ・仕入れ価格の高騰などの要因から売上が減少している。4月の入学・入社シーズンに向けて客の囲い込みを行っているが、成果があまり出ない。（商店街）
- ・郊外スーパーの影響により購買力が流出し、中心市街地をはじめ地元小売業の状況は非常

に厳しい。(小売)

- ・競合の激化と原油の高騰によるコスト高が影響し、採算は厳しい。今年の冬は、灯油等の光熱費と大雪による除雪費の増加の影響を大きく受けた。(スーパー)

【サービス業】 [ 業況D・I値(前年同期比) 37.0(前期 40.3、来期見通 35.6) ]

業況D・I値(前年同期比)は、前期より3.3ポイントマイナス幅が縮小した。業況は依然厳しい状況が続いている。

業界組合・企業よりのコメントでは、「大雪による客足の減少」などから売上の低下、「燃料費の高騰」などによる採算悪化の声が出ている。

〔主なコメント〕

- ・依然として原油高騰の影響で業況は厳しい。(クリーニング)
- ・燃料価格高騰分を運賃等に転嫁できず、採算、業況ともに悪化した。(道路貨物運送)
- ・記録的な大雪で客足が減少した。また、原油の高騰、石油製品の値上げなどにより、採算、業況ともに悪化した。(飲食)
- ・依然として石油類の高騰により関連製品を中心に値上げが続いており、仕入単価が上昇している。また、冬期間の工場の暖房費も高騰しており、仕入単価と工場経費の上昇の両面で採算が悪化している。(自動車整備)

#### 道内各商工会議所の相談窓口からみた地域の特徴的事例

道内各商工会議所の相談窓口(中小企業相談所)からみた状況について、金融面では、景気の低迷により企業の不況感が強いことから、資金需要は依然低調に推移している。

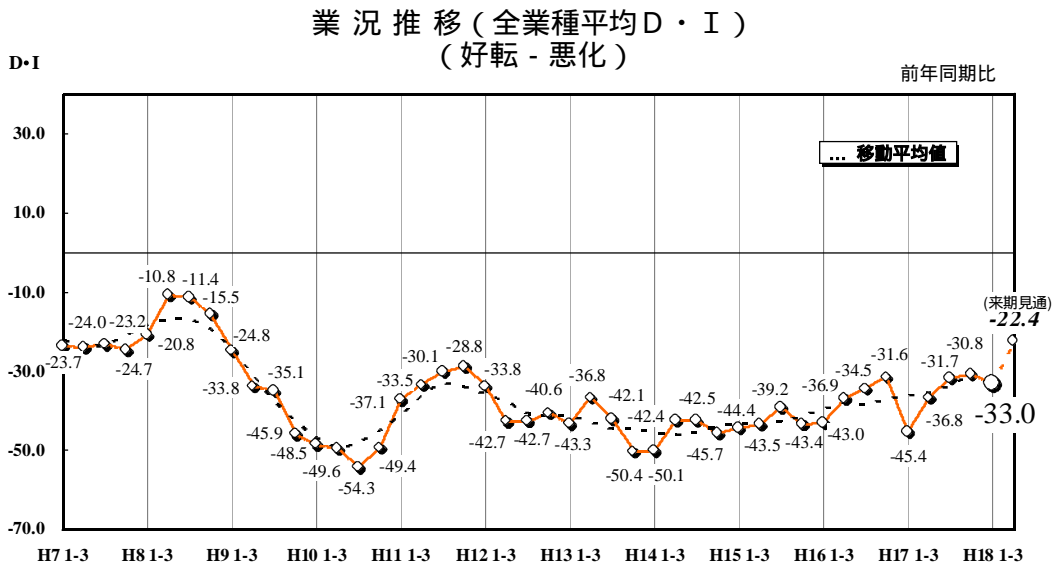
今期の小規模事業者向けの経営改善資金(マル経資金)の斡旋状況は、前年同期比で「減少している」との声が多く、「資金需要の低下」に加えて、「低金利時代によるメリットの低下」や「融資実行の早い民間金融商品などの活用など融資利用が分散している」との声がでている。

資金の用途については、総じて「運転資金」の割合が高く、「設備資金」については、一部では「道融資の申込みが大幅に増加」との声もあるが「全体で見ると前年同期比では減少傾向」との見方となっている。

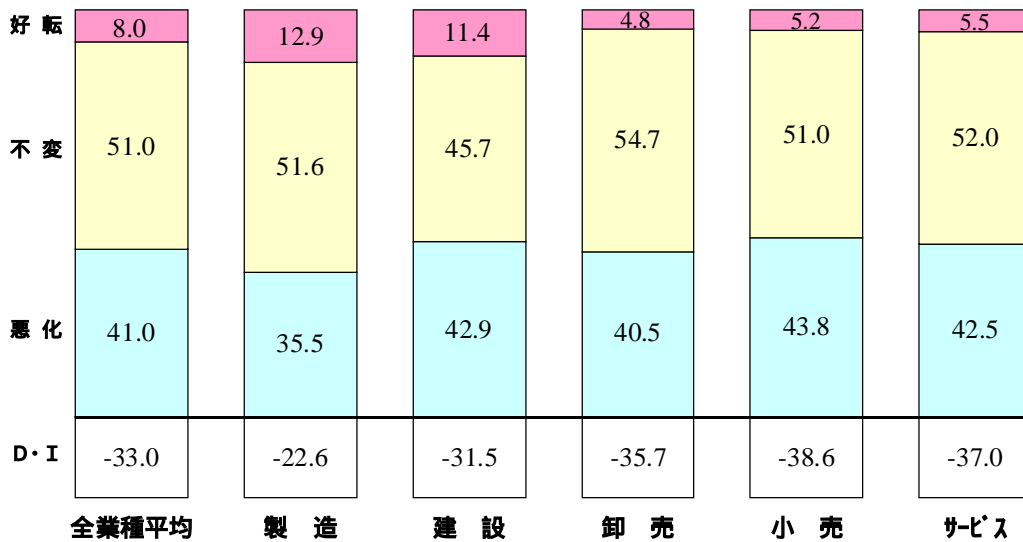
# 1. 今期の業況

## (1) 今期の業況

【前年同期比】（平成17年1～3月期の水準と比較した今期の業況）



今期の業況（前年同期比）

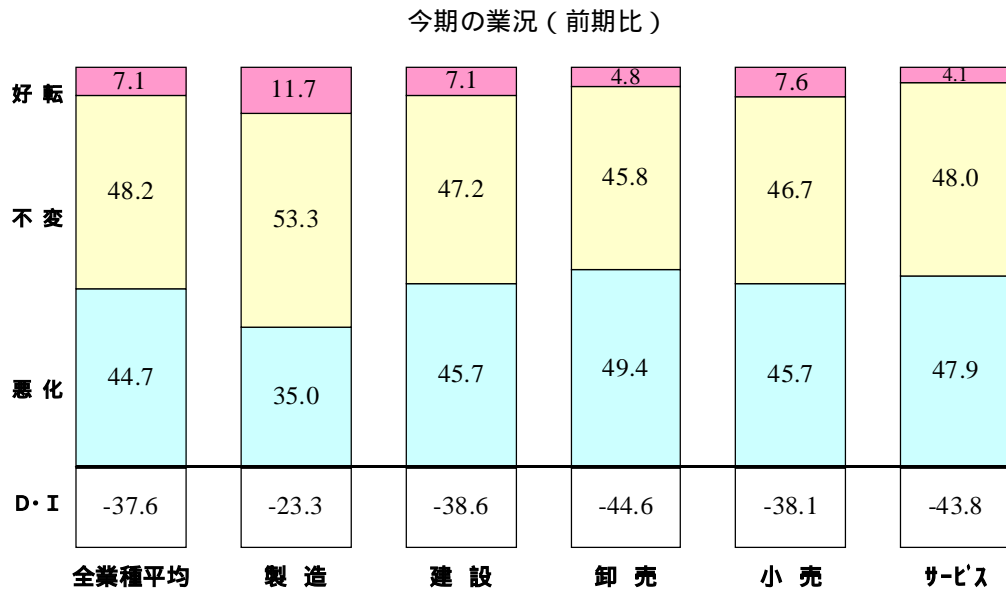


全業種平均でD・I値 33.0〔前回調査時（平成17年10～12月期 30.8）2.2ポイントマイナス幅が拡大〕。

〔業種別D・I値〕 製造〔前回 22.9 22.6〕、建設〔前回 32.4 31.5〕  
卸売〔前回 21.2 35.7〕、小売〔前回 37.2 38.6〕  
サービス〔前回 40.3 37.0〕



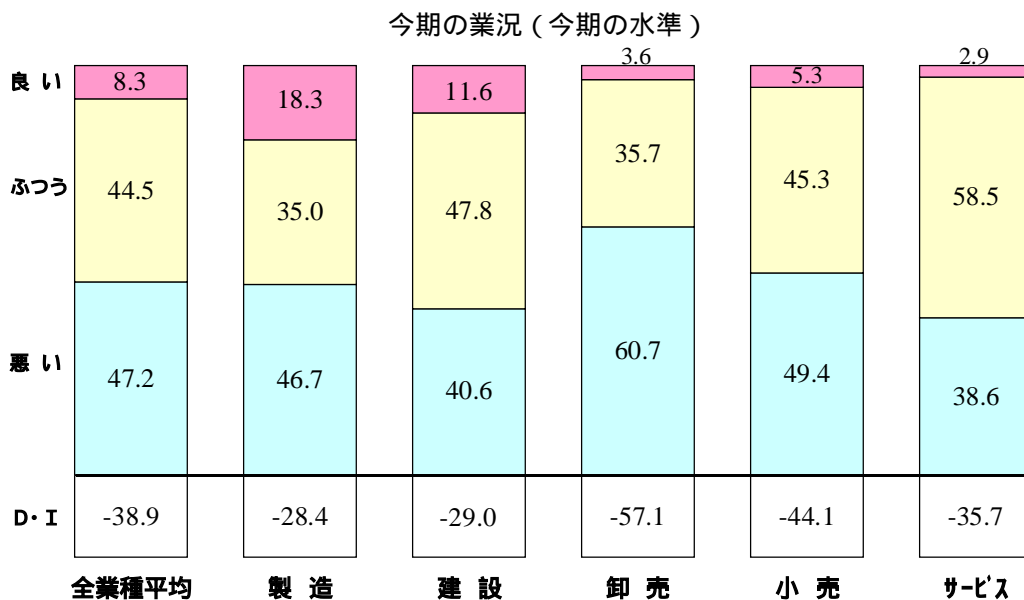
【前期比】（平成17年10～12月期の水準と比較した今期の業況）



全業種平均でD・I値 37.6〔前回調査時（平成17年10～12月期 18.8）より18.8ポイントマイナス幅が拡大〕。

〔業種別D・I値〕 製造〔前回 14.6 23.3〕、建設〔前回 28.6 38.6〕  
卸売〔前回 16.3 44.6〕、小売〔前回 30.1 38.1〕  
サービス〔前回 33.3 43.8〕

【今期の水準】

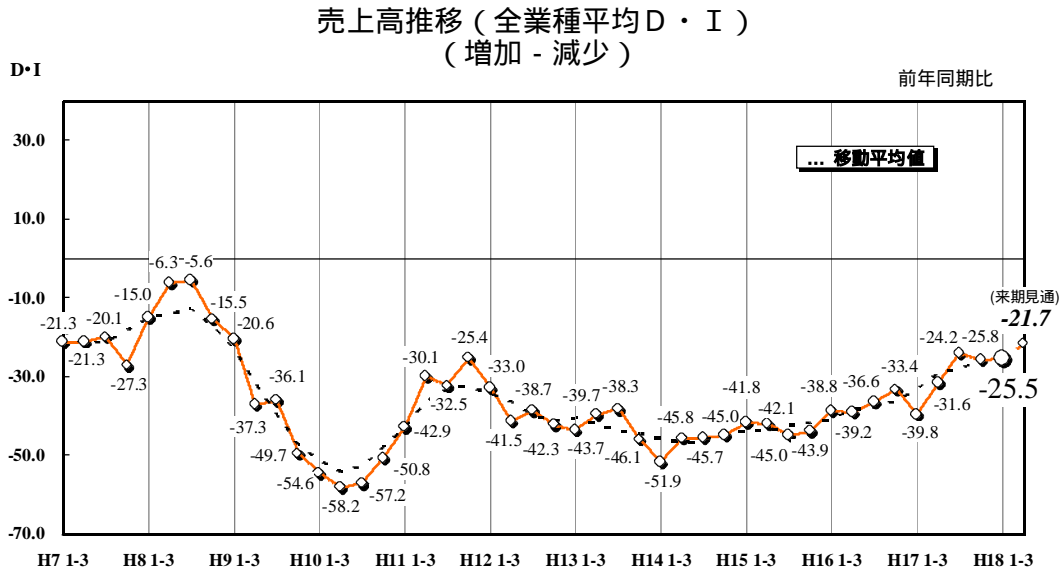


全業種平均でD・I値 38.9〔前回調査時（平成17年10～12月期 35.4）より3.5ポイントマイナス幅が拡大〕。

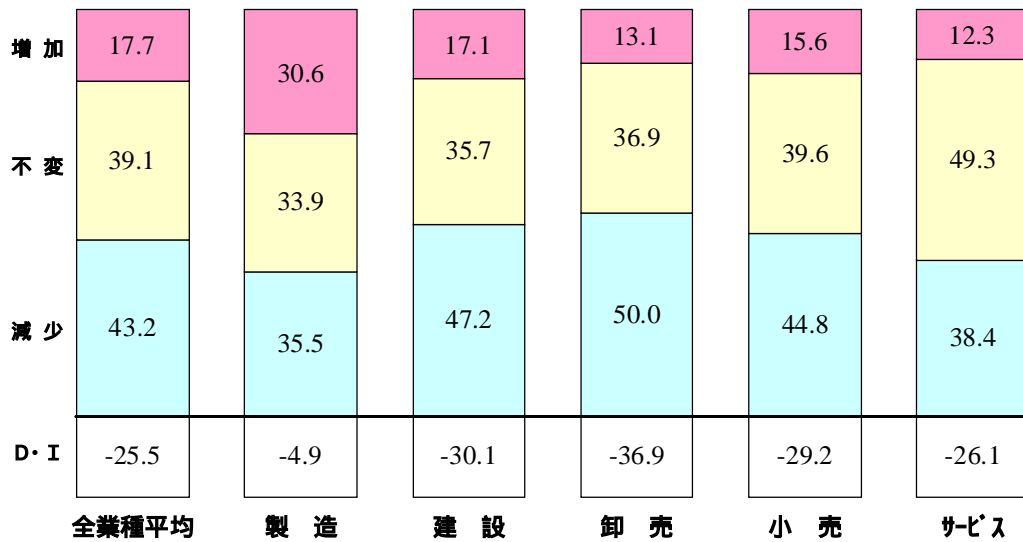
〔業種別D・I値〕 製造〔前回 21.0 28.4〕、建設〔前回 30.9 29.0〕  
卸売〔前回 40.4 57.1〕、小売〔前回 40.9 44.1〕  
サービス〔前回 43.6 35.7〕

(2) 今期の売上高

【前年同期比】（平成17年1～3月期の水準と比較した今期の売上高）



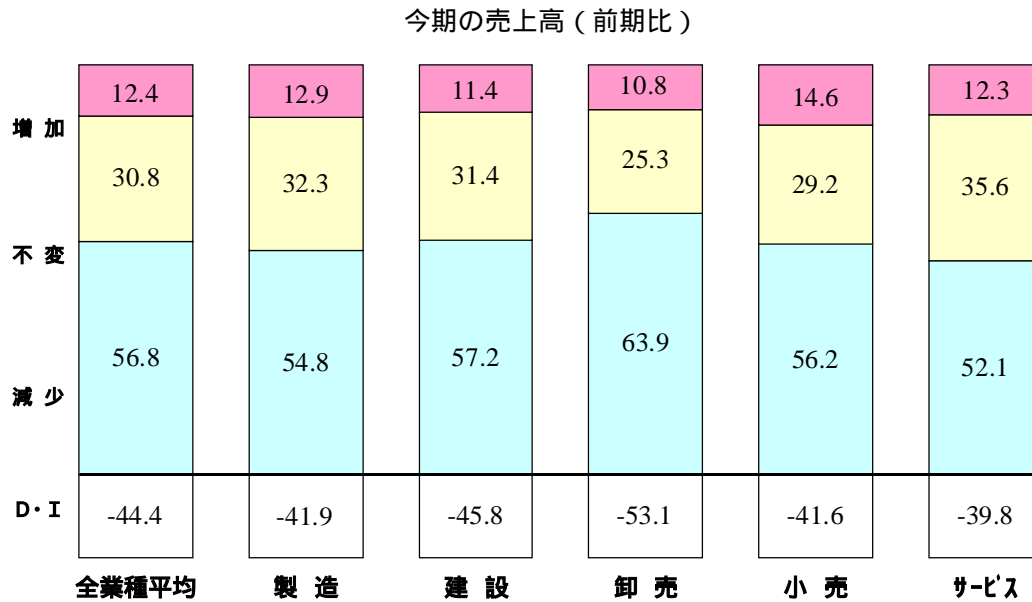
今期の売上高（前年同期比）



全業種平均でD・I値 25.5〔前回調査時（平成17年10～12月期 25.8）より0.3ポイントマイナス幅が拡大〕。

〔業種別D・I値〕 製造〔前回 24.1 4.9〕、建設〔前回 27.1 30.1〕  
卸売〔前回 12.5 36.9〕、小売〔前回 30.5 29.2〕  
サービス〔前回 34.7 26.1〕

【前期比】（平成17年10～12月期の水準と比較した今期の売上高）

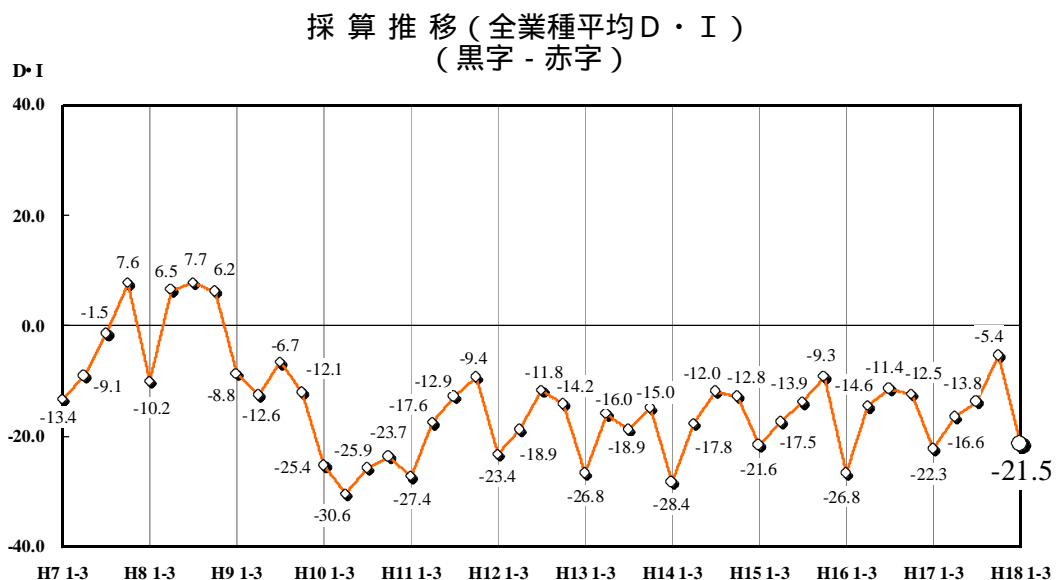


全業種平均でD・I値 44.4〔前回調査時（平成17年10～12月期 14.3）より30.1ポイントマイナス幅が拡大〕。

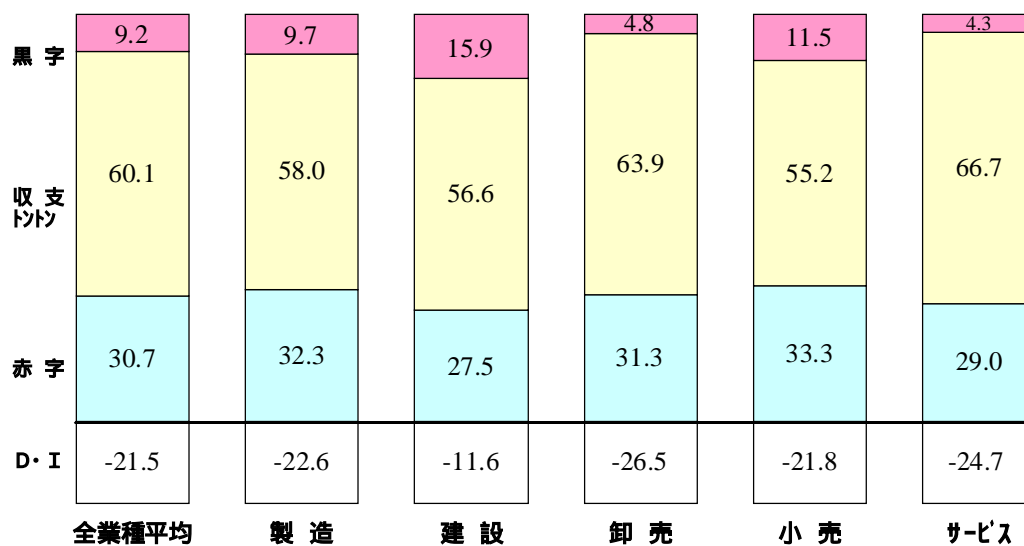
〔業種別D・I値〕 製造〔前回 11.4 41.9〕、建設〔前回 22.5 45.8〕  
 卸売〔前回 6.5 53.1〕、小売〔前回 12.7 41.6〕  
 サービス〔前回 31.4 39.8〕

（3）今期の採算（経常利益）

【今期の水準】



今期の採算（今期の水準）

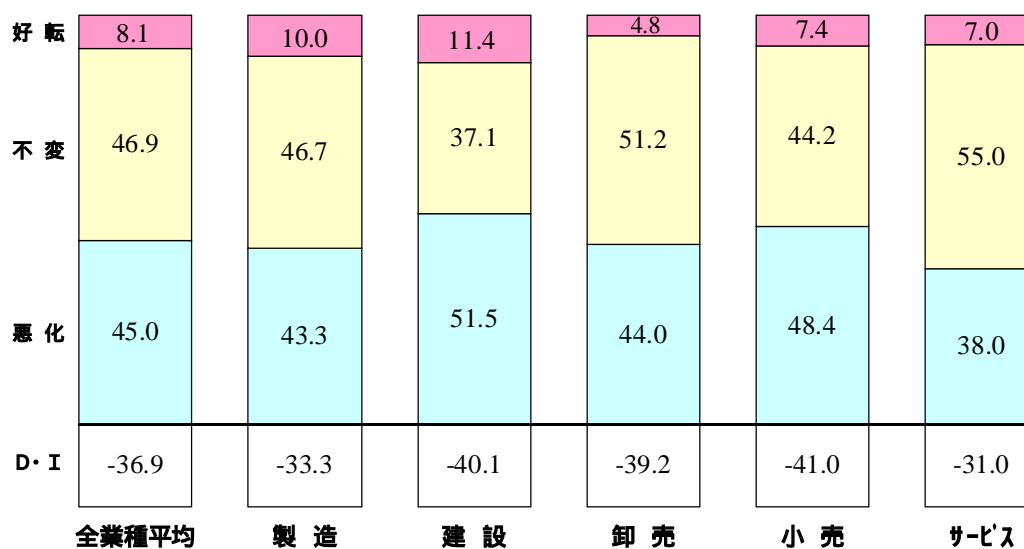


全業種平均でD・I値 21.5〔前回調査時（平成17年10～12月期 5.4）より16.1ポイントマイナス幅が拡大〕。

〔業種別D・I値〕 製造〔前回 11.3 22.6〕、建設〔前回 2.8 11.6〕  
卸売〔前回5.1 26.5〕、小売〔前回 19.3 21.8〕  
サービス〔前回 21.2 24.7〕

【前年同期比】（平成17年1～3月期の水準と比較した今期の採算）

今期の採算（前年同期比）

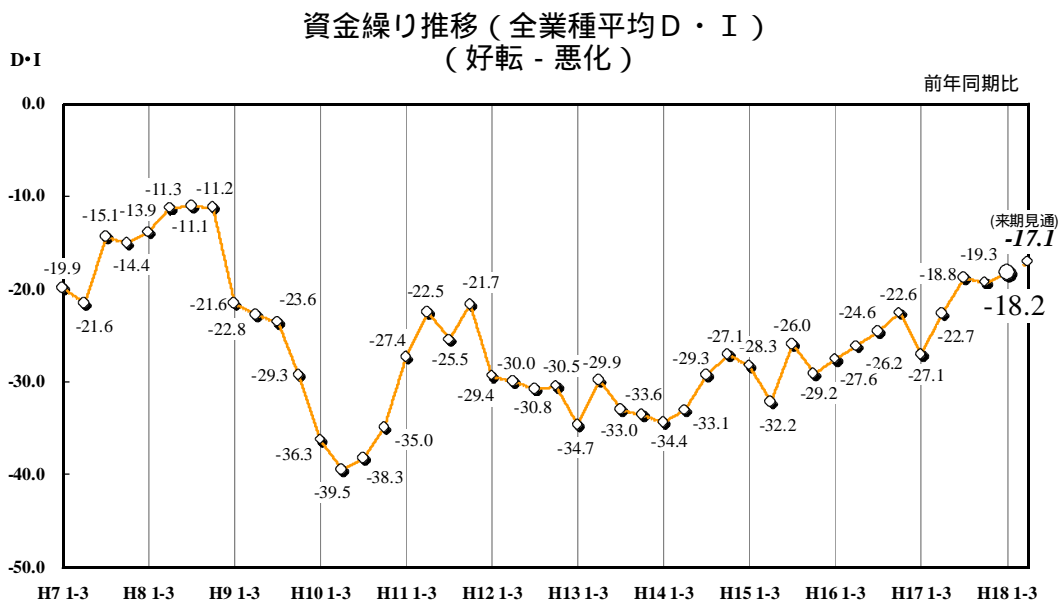
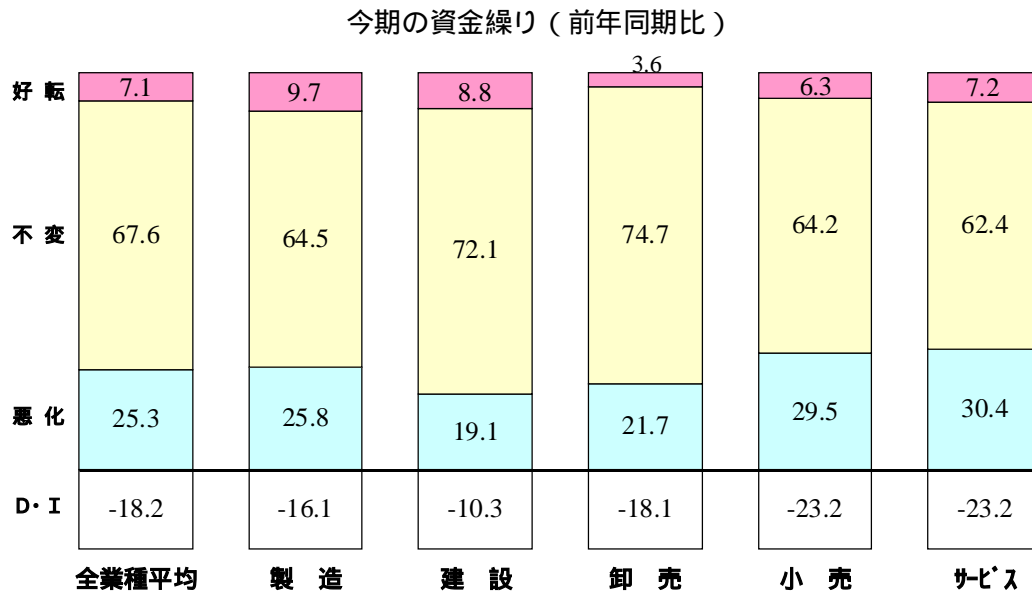


全業種平均でD・I値 36.9〔前回調査時（平成17年10～12月期 33.3）より3.6ポイントマイナス幅が拡大〕。

〔業種別D・I値〕 製造〔前回 24.6 33.3〕、建設〔前回 41.4 40.1〕  
卸売〔前回 21.5 39.2〕、小売〔前回 37.9 41.0〕  
サービス〔前回 40.8 31.0〕

(4) 今期の資金繰り

【前年同期比】（平成17年1～3月期の水準と比較した今期の資金繰り）



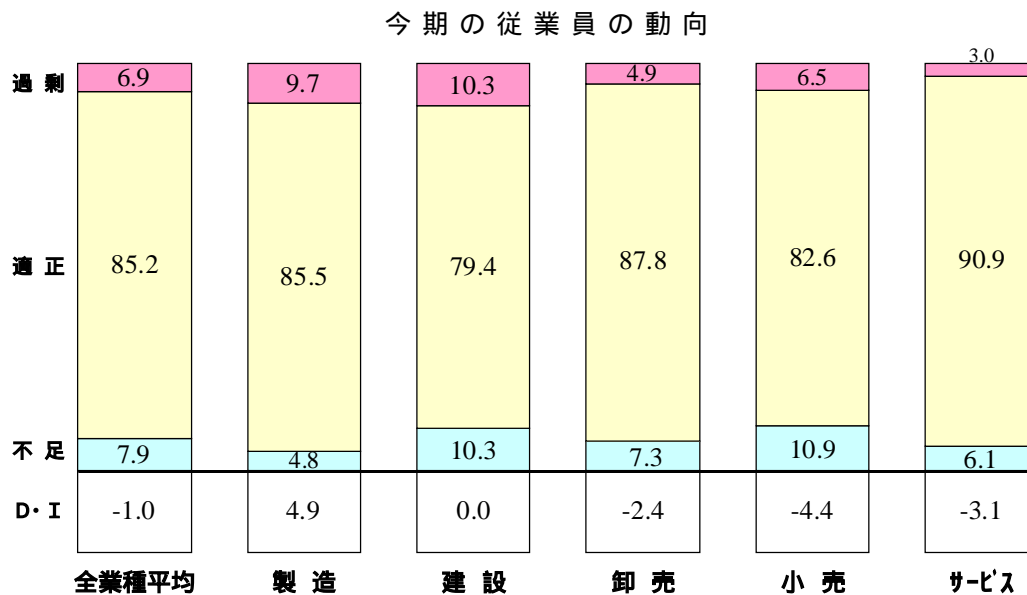
全業種平均でD・I値 18.2〔前回調査時（平成17年10～12月期 18.8）より0.6ポイントマイナス幅が縮小〕。

〔業種別D・I値〕 製造〔前回 16.7 16.1〕、建設〔前回 15.9 10.3〕  
卸売〔前回 15.2 18.1〕、小売〔前回 22.6 23.2〕  
サービス〔前回 26.1 23.2〕

(5) 今期の経営上の問題点 (1位に挙げられた項目)

製造業	「需要の停滞」	(42.0%) [前回 35.1%]
	「原材料価格の上昇」	(17.3%) [前回 14.7%]
	「製品(加工)単価の低下・上昇難」	(8.8%) [前回 18.4%]
	「熟練技術者の確保難」	(8.8%) [前回 3.7%]
建設業	「官公需要の停滞」	(29.2%) [前回 31.2%]
	「請負単価の低下・上昇難」	(26.2%) [前回 18.8%]
	「民間需要の停滞」	(15.4%) [前回 20.2%]
卸売業	「需要の停滞」	(53.8%) [前回 42.8%]
	「販売単価の低下・上昇難」	(11.5%) [前回 7.8%]
	「小売業の進出による競争の激化」	(6.4%) [前回 5.2%]
小売業	「大型・中型店進出競争の激化」	(30.1%) [前回 32.3%]
	「需要の停滞」	(18.5%) [前回 22.2%]
	「消費者ニーズの変化への対応」	(9.2%) [前回 10.0%]
	「同業店の進出」	(9.2%) [前回 6.7%]
サービス業	「需要の停滞」	(36.7%) [前回 36.9%]
	「熟練従業員の確保難」	(11.1%) [前回 7.7%]
	「利用者ニーズの変化への対応」	(9.5%) [前回 15.4%]
	「人件費以外の経費の増加」	(9.5%) [前回 6.2%]

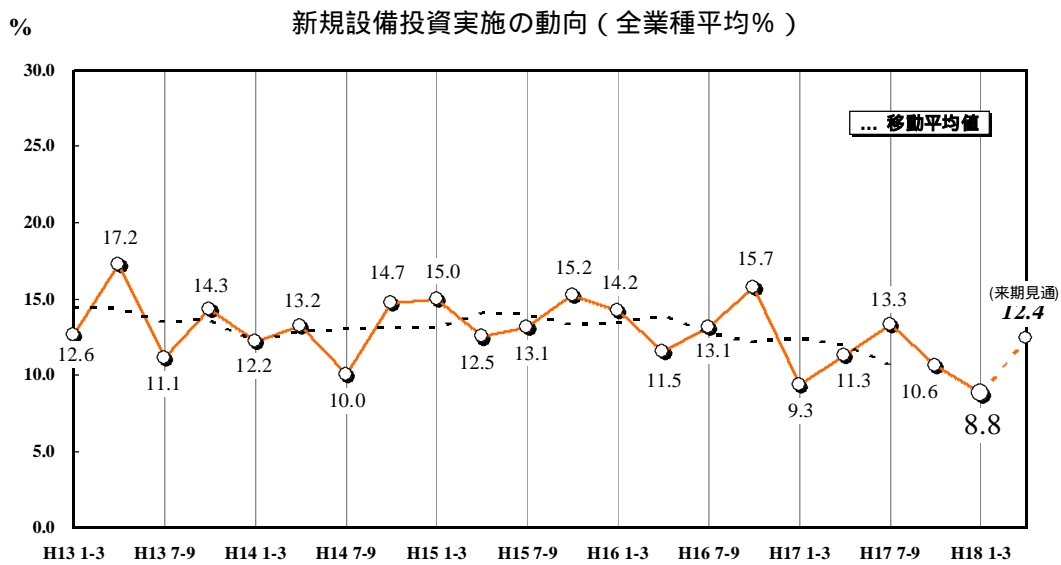
(6) 今期の従業員の動向



全業種平均でD・I値 1.0〔前回調査時(平成17年10~12月期 1.0)〕と横這い。また、「適正」とする企業が85.2%と大勢を占めている。

〔業種別D・I値〕 製造〔前回 1.6 4.9〕(適正85.5%)  
 建設〔前回 2.9 0.0〕(適正79.4%)  
 卸売〔前回5.2 2.4〕(適正87.8%)  
 小売〔前回 1.1 4.4〕(適正82.6%)  
 サービス〔前回 4.6 3.1〕(適正90.9%)

## (7) 今期の新規設備投資



### 今期の新規設備投資の動向

（単位％）

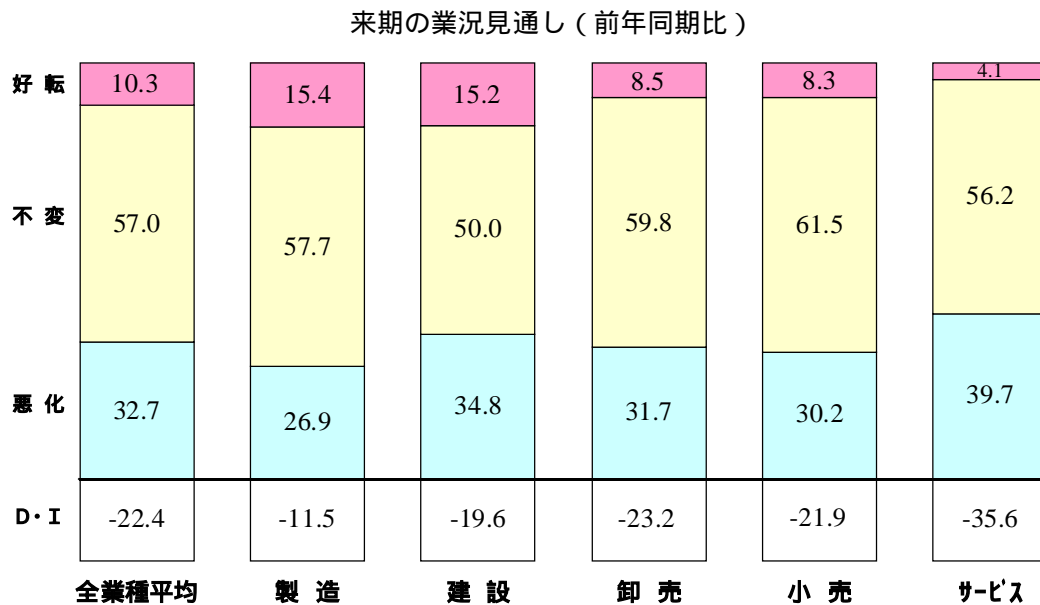
	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	全業種平均
実施した	19.7	2.9	8.3	2.2	11.0	8.8
土地	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
工場建物、建物、店舗	33.3	50.0	0.0	50.0	12.5	29.2
生産・販売・サービス設備、建設機械	50.0	0.0	0.0	50.0	12.5	22.5
車両運搬具	25.0	0.0	28.6	0.0	25.0	15.7
倉庫・駐車場等の付帯施設	8.3	0.0	14.3	50.0	12.5	17.0
OA機器	33.3	50.0	57.1	0.0	37.5	35.6
厚生施設	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5	2.5
実施していない	80.3	97.1	91.7	97.8	89.0	91.2

新たに設備投資を実施した企業は平均で8.8%〔前回調査時（平成17年10～12月期10.6%）より1.8%低下〕、業種別では製造〔前回14.8% 19.7%〕、建設〔前回5.6% 2.9%〕、卸売〔前回6.3% 8.3%〕、小売〔前回13.7% 2.2%〕、サービス〔前回12.5% 11.0%〕と建設、小売、サービスで低下している。

## 2. 来期の見通し

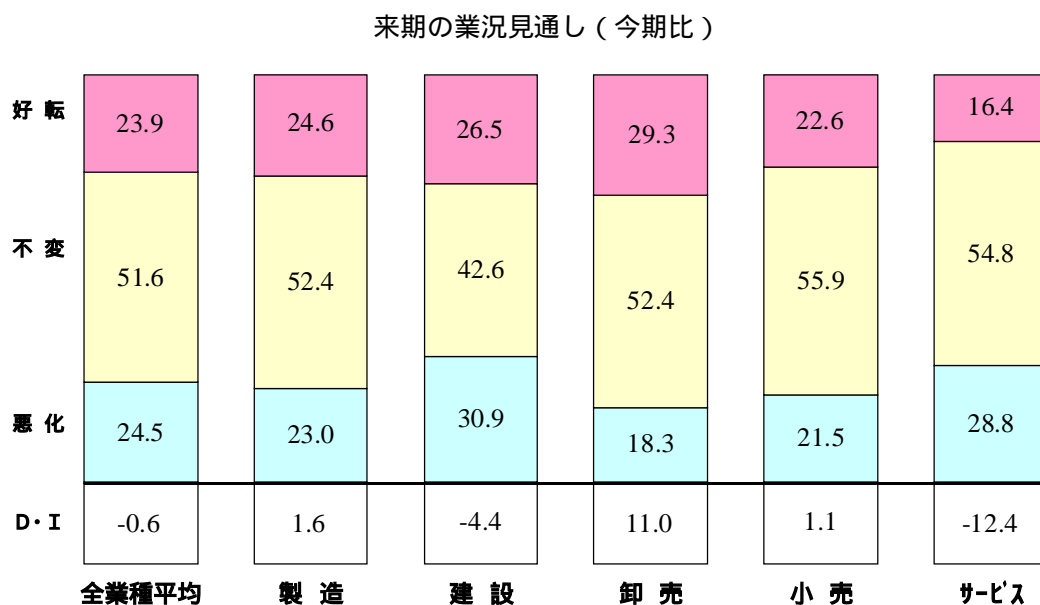
### (1) 来期の業況

【前年同期比】（平成17年4～6月期の水準と比較した来期の見通し）



全業種平均でD・I値 22.4〔今期の業況（前年同期比 33.0）より10.6ポイント改善の見通し〕。

【今期比】（平成18年1～3月期の水準と比較した来期の見通し）

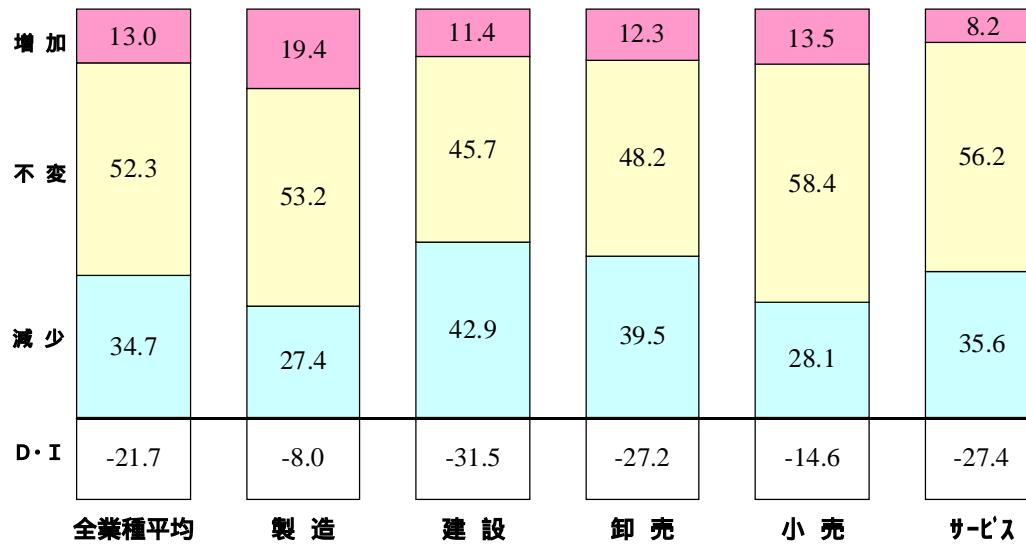




## (2) 来期の売上高

【前年同期比】（平成17年4～6月期の水準と比較した来期の見通し）

来期の売上高見通し（前年同期比）

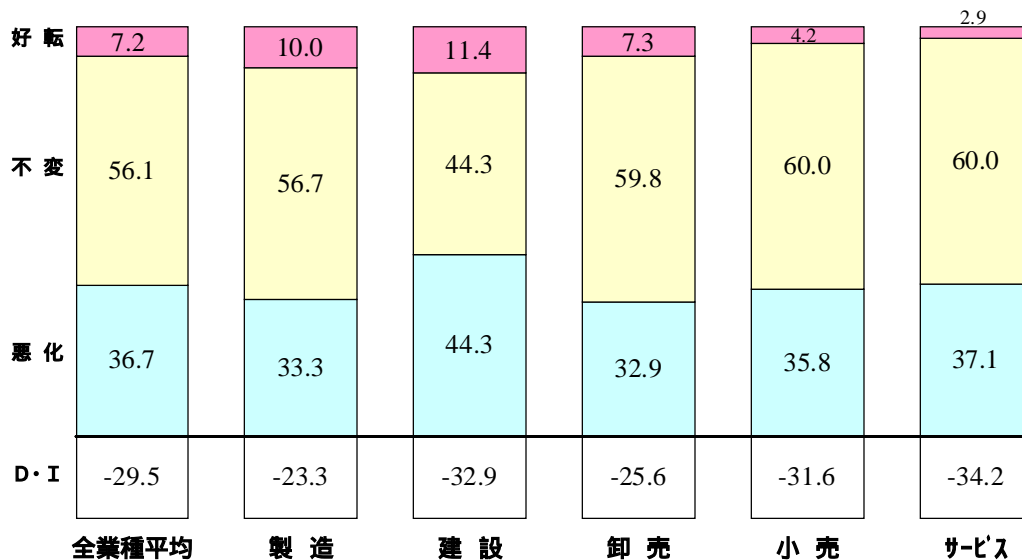


全業種平均でD・I値 21.7〔今期の売上高（前年同期比 25.5）より3.8ポイント改善の見通し〕。

## (3) 来期の採算（経常利益）

【前年同期比】（平成17年4～6月期の水準と比較した来期の見通し）

来期の採算見通し（前年同期比）



全業種平均でD・I値 29.5〔今期の採算（前年同期比 36.9）より7.4ポイント改善の見通し〕。

## (4) 来期の新規設備投資

### 来期の新規設備投資の動向

(単位%)

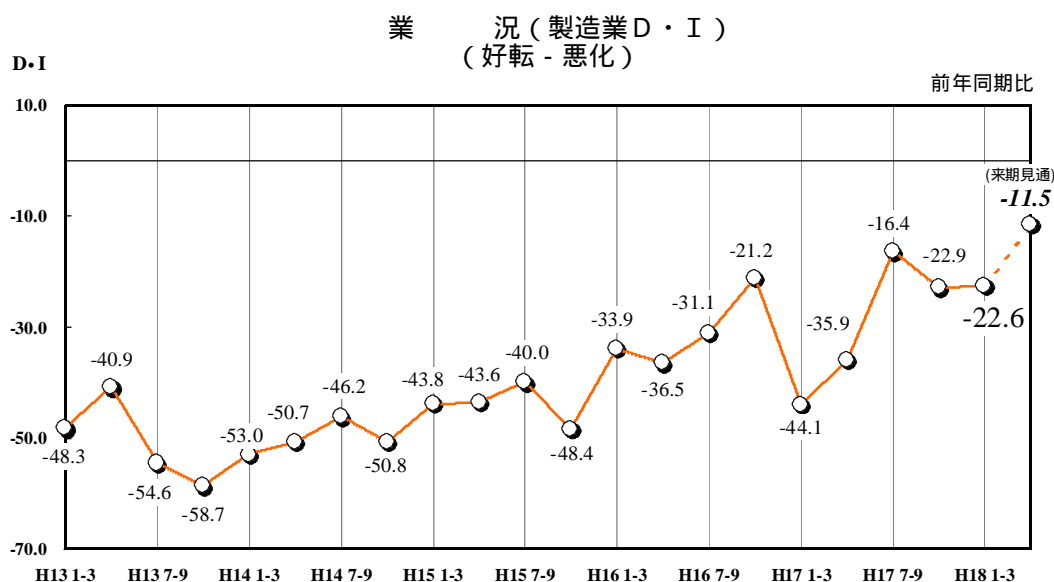
	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	全業種平均
実施する	17.7	5.8	15.9	11.6	11.0	12.4
土地	0.0	25.0	15.4	0.0	0.0	8.1
工場建物、建物、店舗	9.1	25.0	7.7	9.1	50.0	20.2
生産・販売・サービス設備、建設機械	63.6	0.0	15.4	9.1	37.5	25.1
車両運搬具	27.3	25.0	30.8	45.5	0.0	25.7
倉庫・駐車場等の付帯施設	9.1	0.0	7.7	9.1	37.5	12.7
O A 機器	27.3	25.0	30.8	27.3	12.5	24.6
厚生施設	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	9.1	0.0	23.1	9.1	25.0	13.3
実施しない	82.3	94.2	84.1	88.4	89.0	87.6

新たに設備投資を予定している企業は全業種平均で12.4%となっており、今期(8.8%)を上回る見通し。

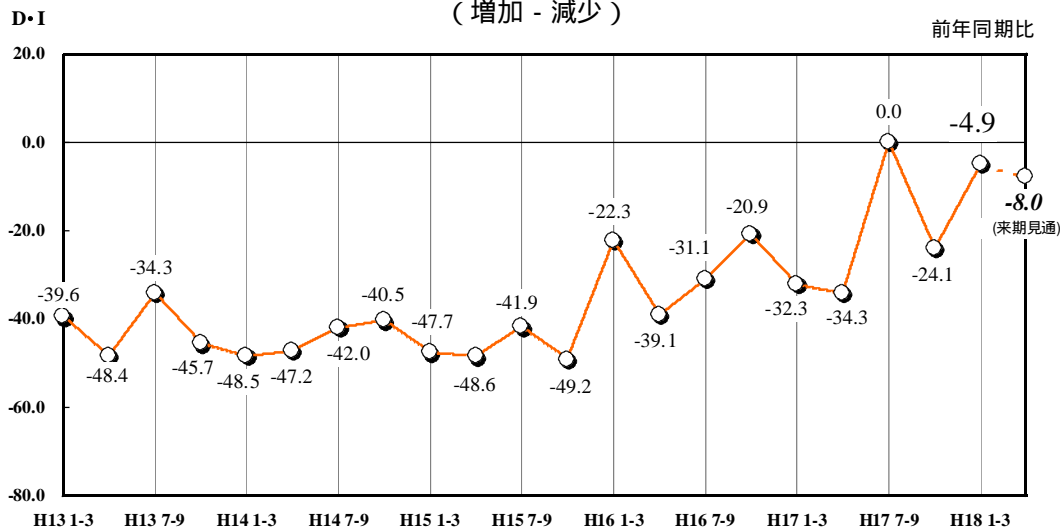
業種別では、製造〔今期19.7% 17.7%〕、建設〔今期2.9% 5.8%〕、卸売〔今期8.3% 15.9%〕、小売〔今期2.2% 11.6%〕、サービス〔今期11.0% 11.0%〕となっている。

## 業種別の動向

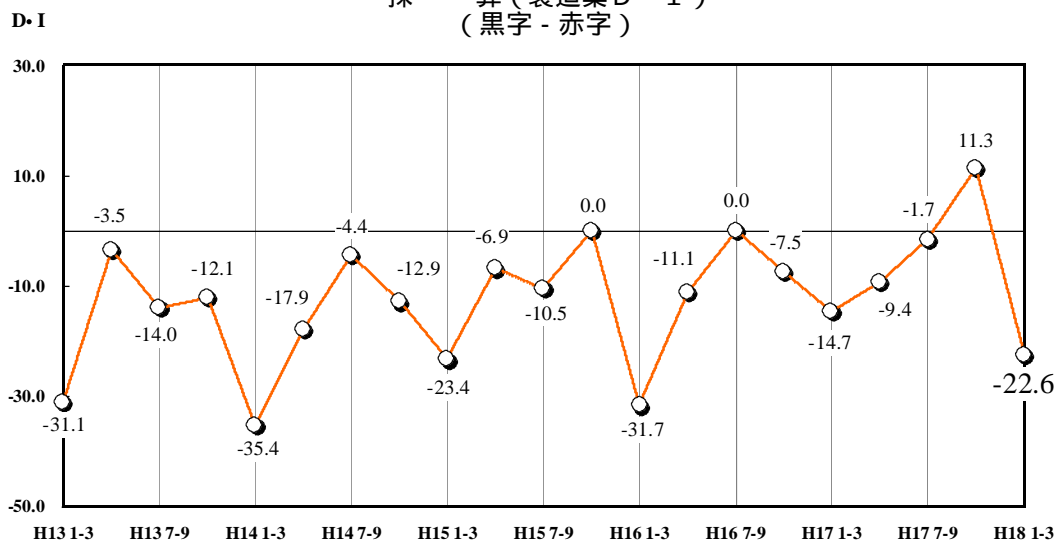
### (1) 製造業



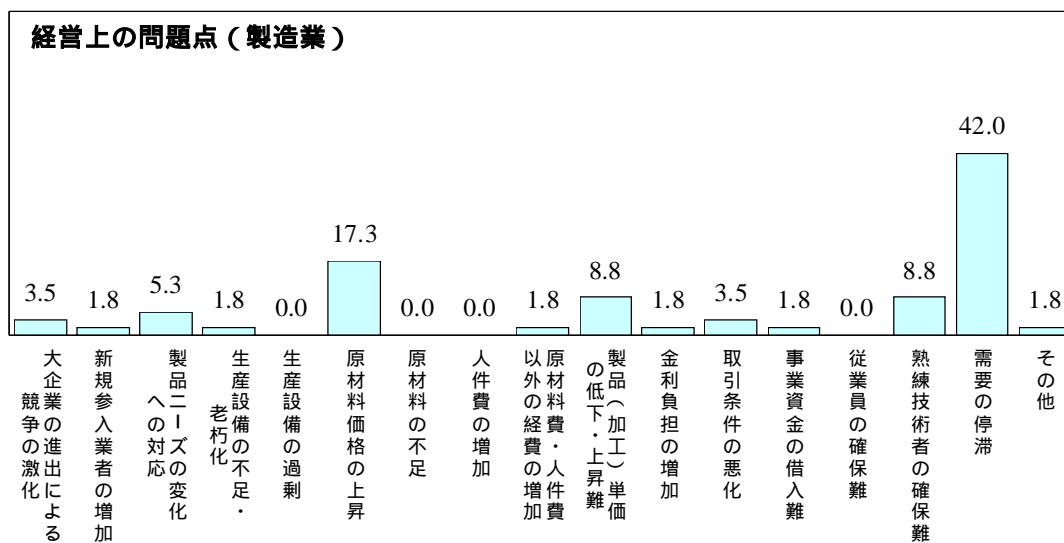
### 売上高（製造業D・I） （増加 - 減少）



### 採算（製造業D・I） （黒字 - 赤字）



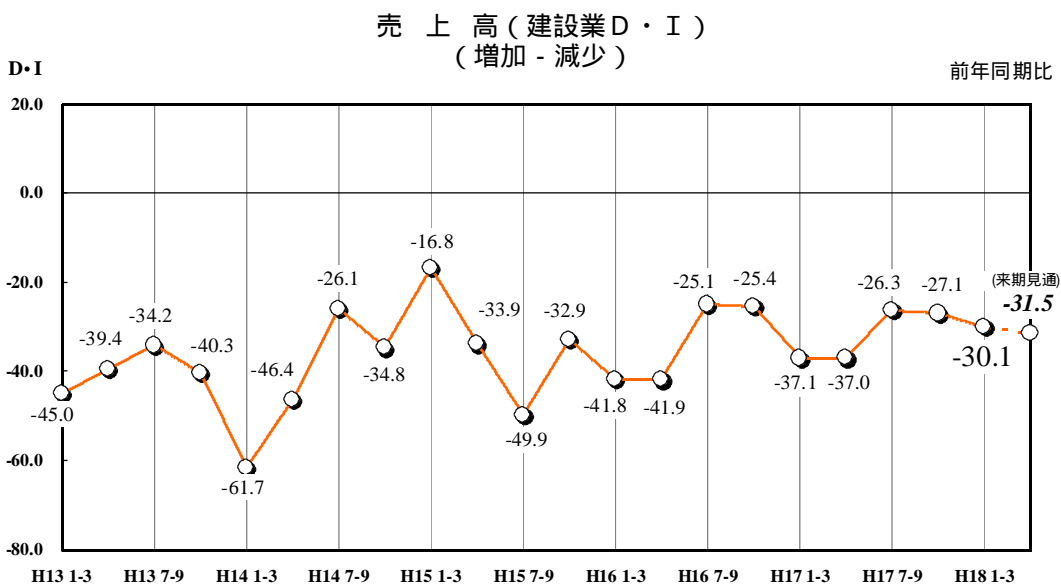
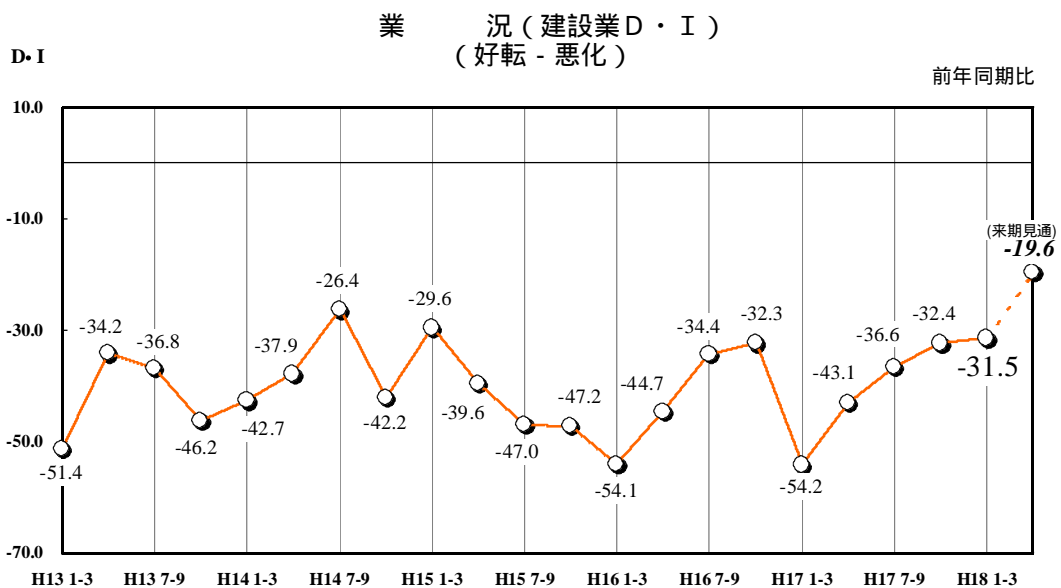
### 経営上の問題点



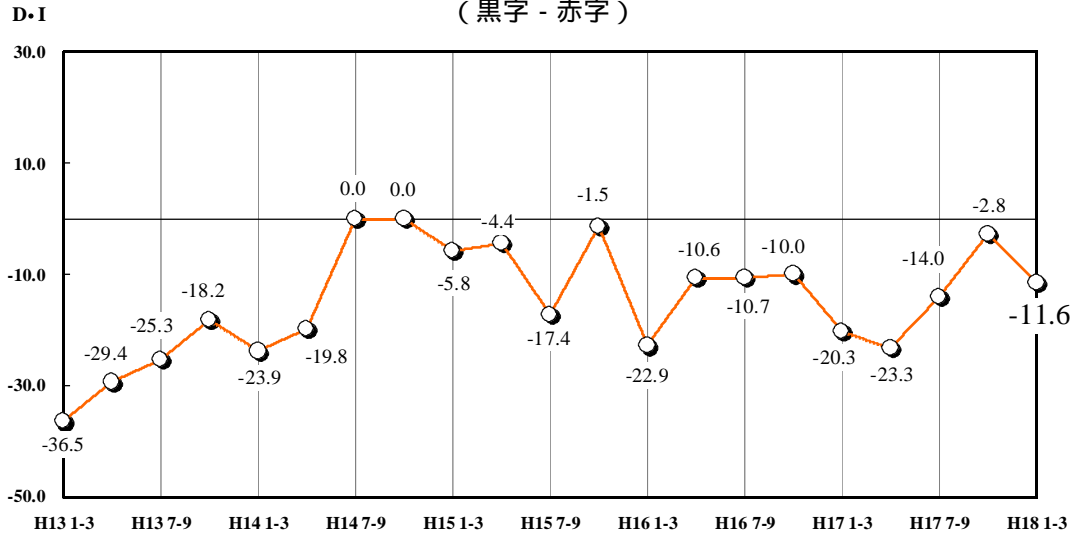
その他 (D・I値)

	今 期		来 期 (見通し)
	(前年同期比)	(前期比)	
資 金 繰 り	16.1	16.4	11.3 (前年同期比)
長期資金借入難度	-----	6.7	5.0 (今期比)
短期 "	-----	8.7	8.7 (今期比)
設 備 操 業 率	19.6	-----	20.0 (前年同期比)

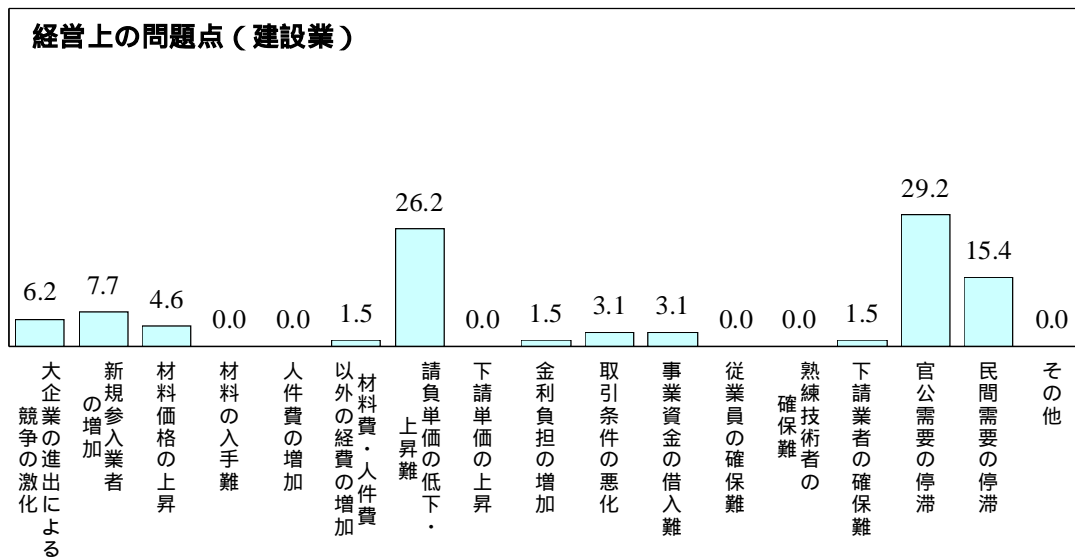
(2) 建 設 業



採 算 (建設業 D・I)  
(黒字 - 赤字)



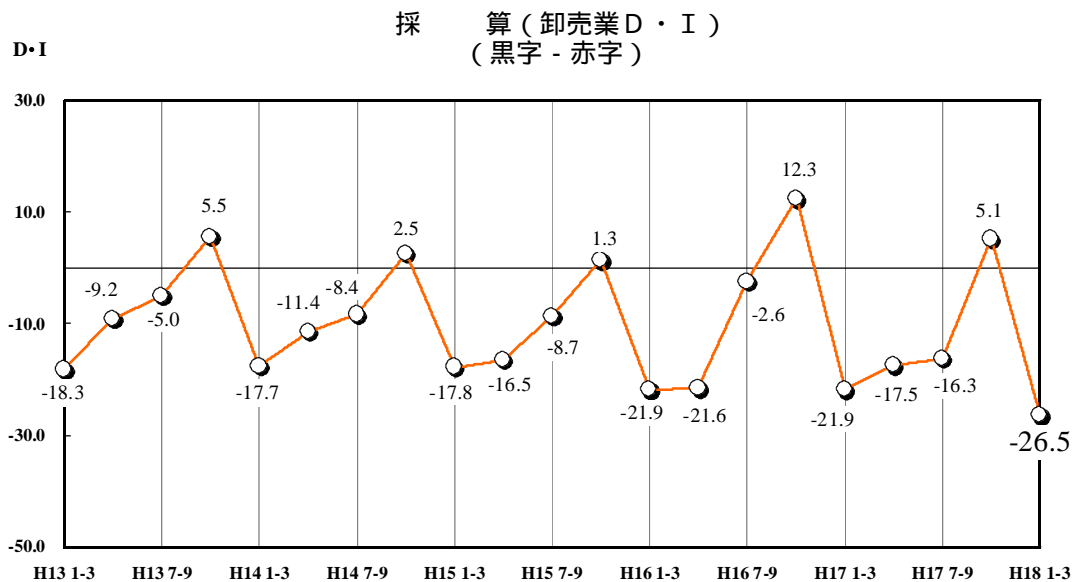
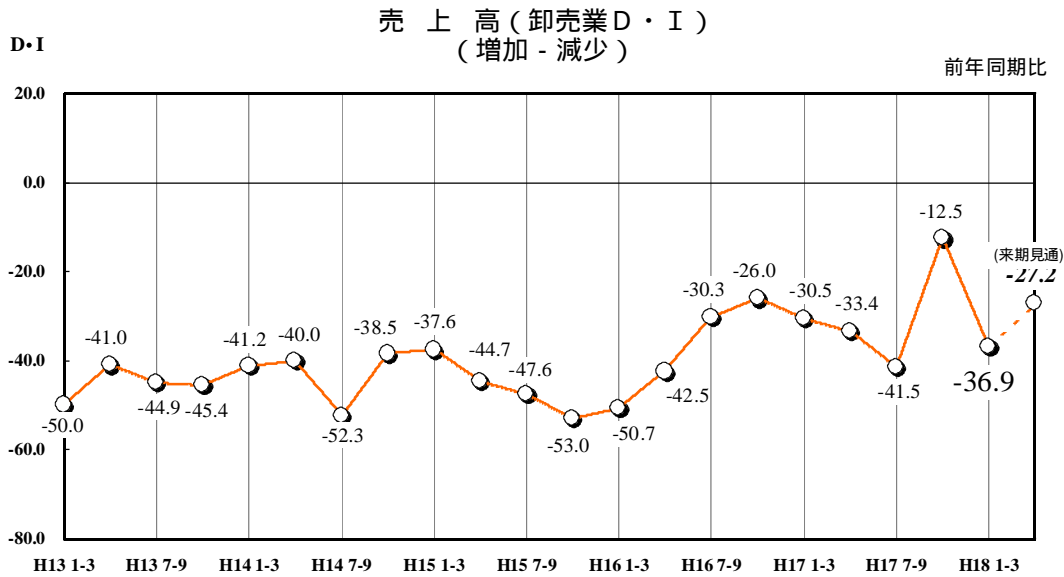
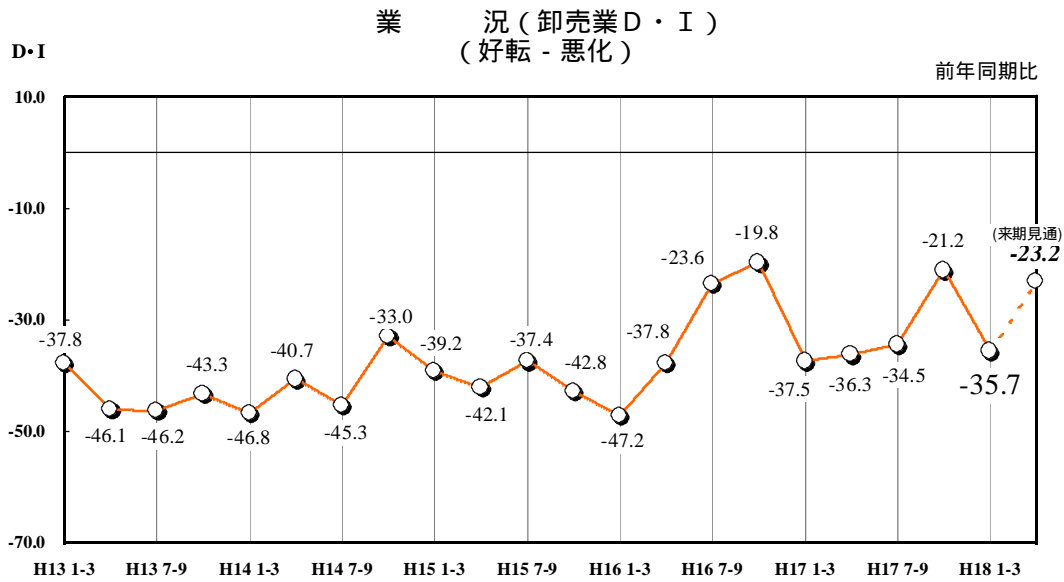
経営上の問題点



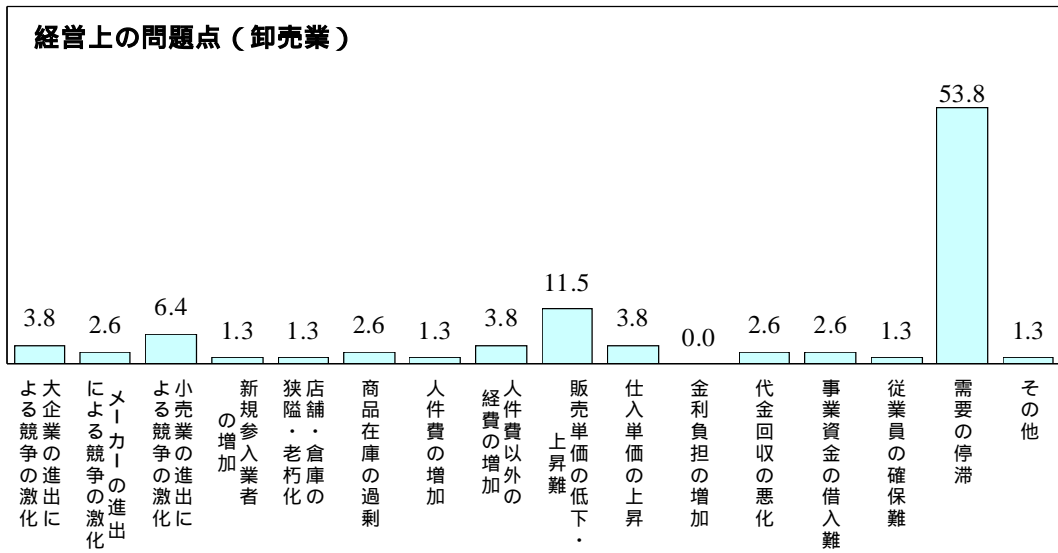
その他 (D・I値)

	今 期		来 期 (見通し)
	(前年同期比)	(前期比)	
資 金 繰 り	10.3	20.9	11.9 (前年同期比)
長期資金借入難度	-----	3.2	1.6 (今期比)
短期 "	-----	6.2	0.0 (今期比)
受注(新規契約工事)額	30.1	-----	25.8 (前年同期比)

### (3) 卸 売 業



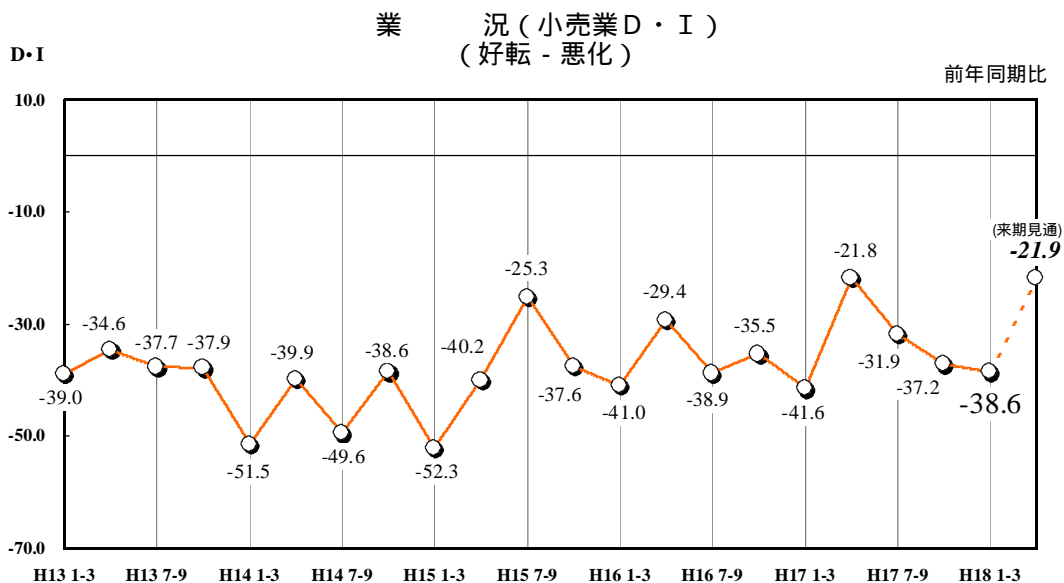
## 経営上の問題点



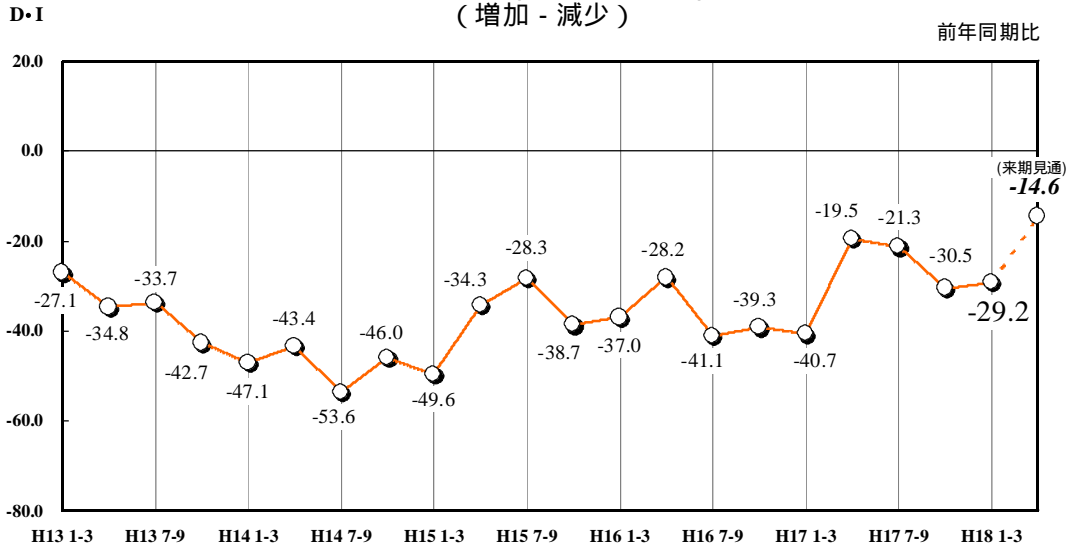
## その他（D・I値）

	今 期		来 期 (見通し)
	(前年同期比)	(前期比)	
資金繰り	18.1	21.7	13.6 (前年同期比)
長期資金借入難度	-----	1.2	2.6 (今期比)
短期 "	-----	2.6	1.3 (今期比)
商品在庫数量	16.7	-----	15.8 (前年同期比)

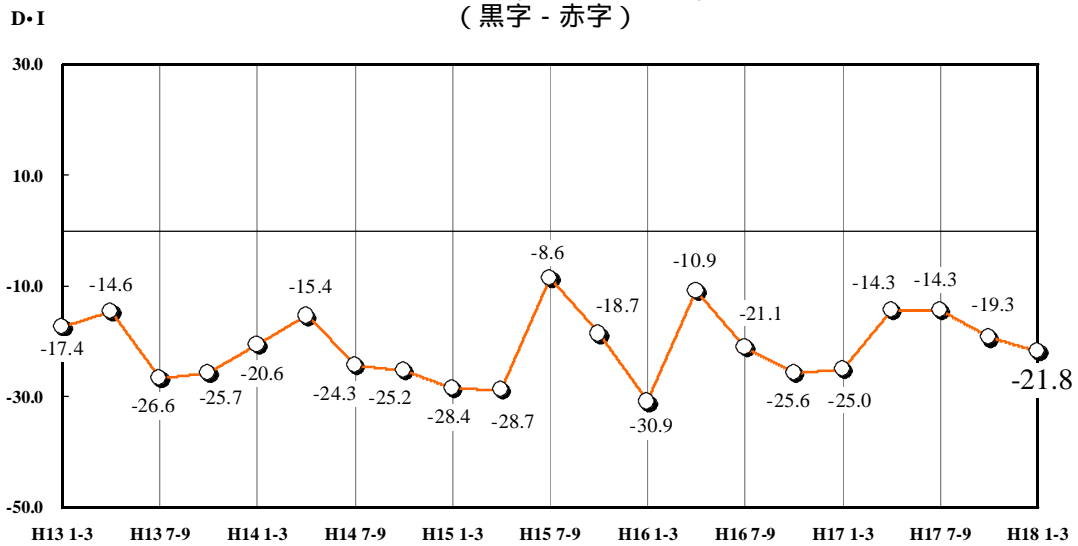
## (4) 小 売 業



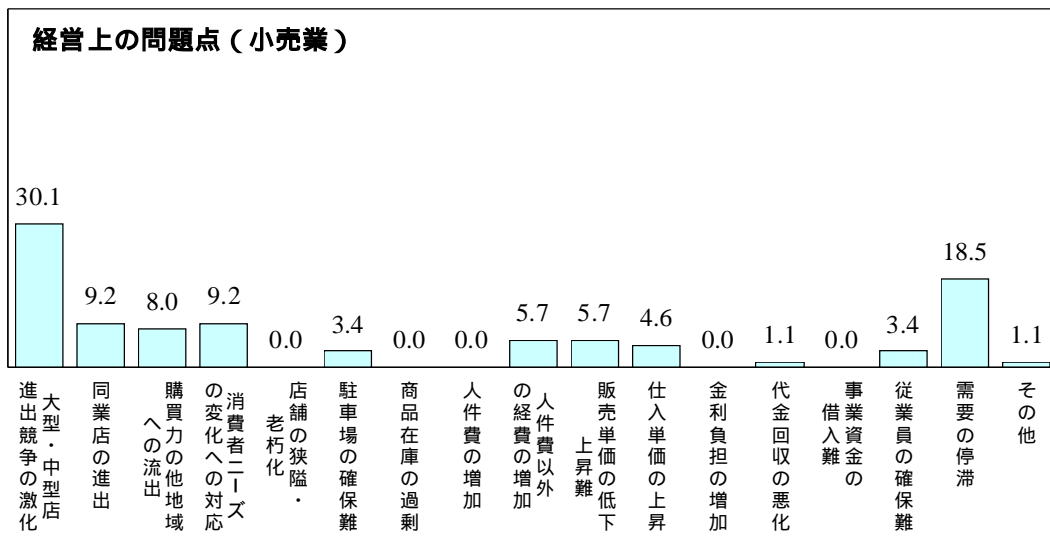
売上高(小売業D・I)  
(増加 - 減少)



採算(小売業D・I)  
(黒字 - 赤字)



経営上の問題点

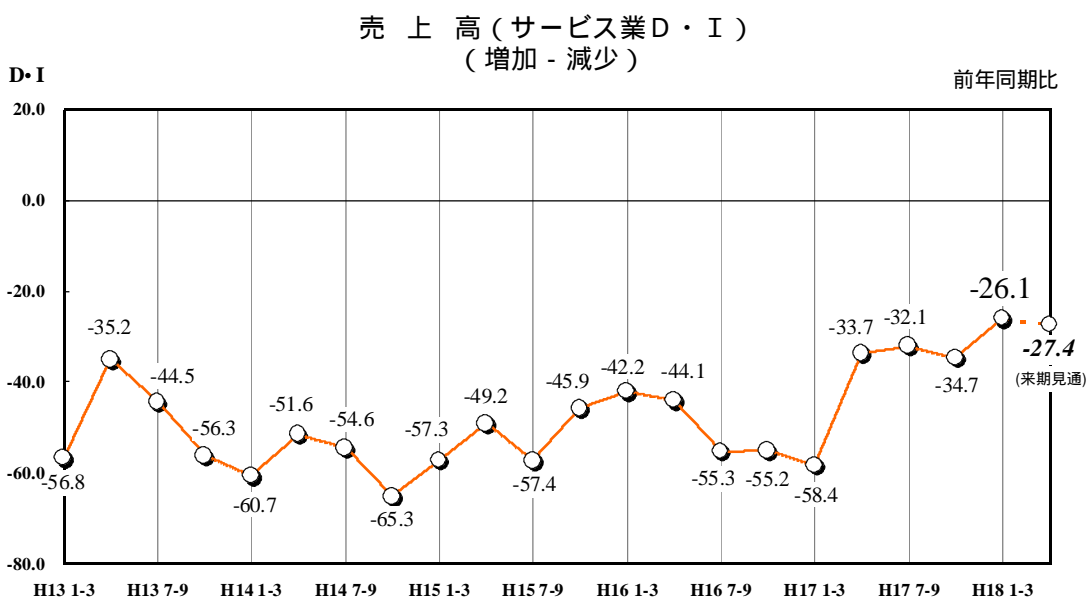
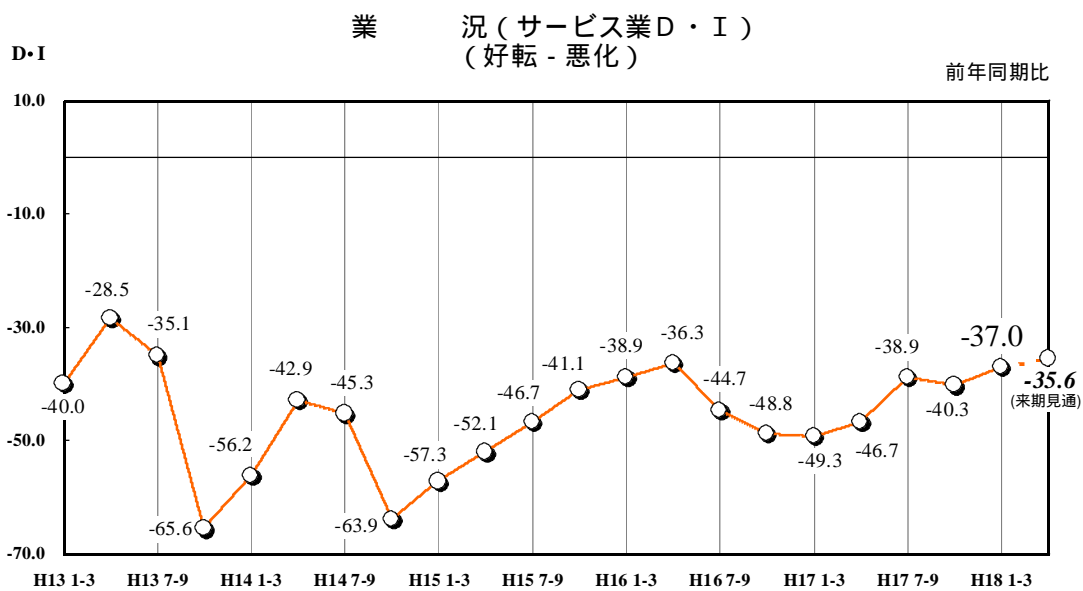




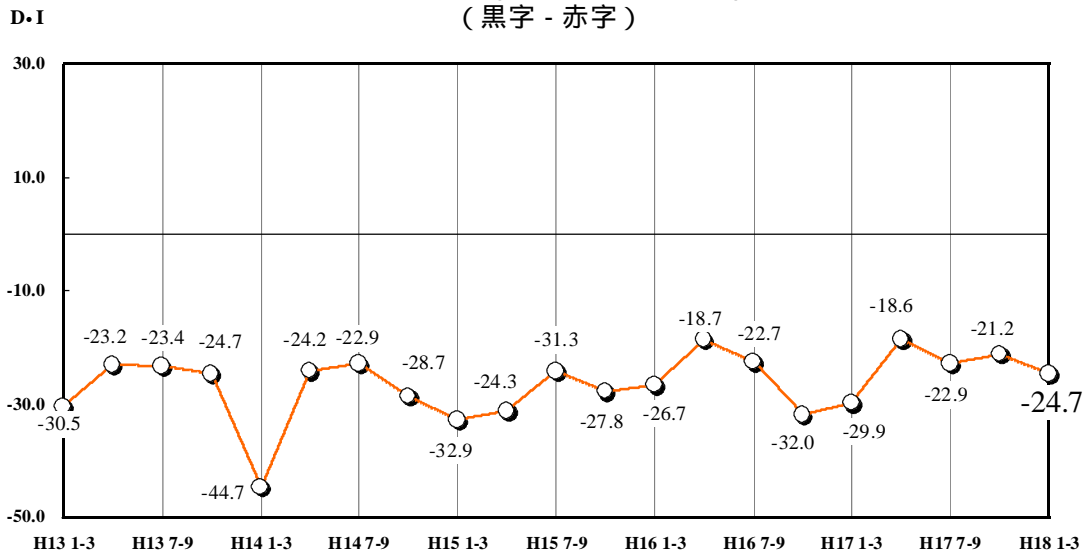
その他 (D・I値)

	今 期		来 期 (見通し)
	(前年同期比)	(前期比)	
資 金 繰 り	23.2	27.4	21.1 (前年同期比)
長期資金借入難度	-----	13.3	15.7 (今期比)
短期 "	-----	3.7	7.4 (今期比)
商品在庫数量	32.2	-----	26.1 (前年同期比)

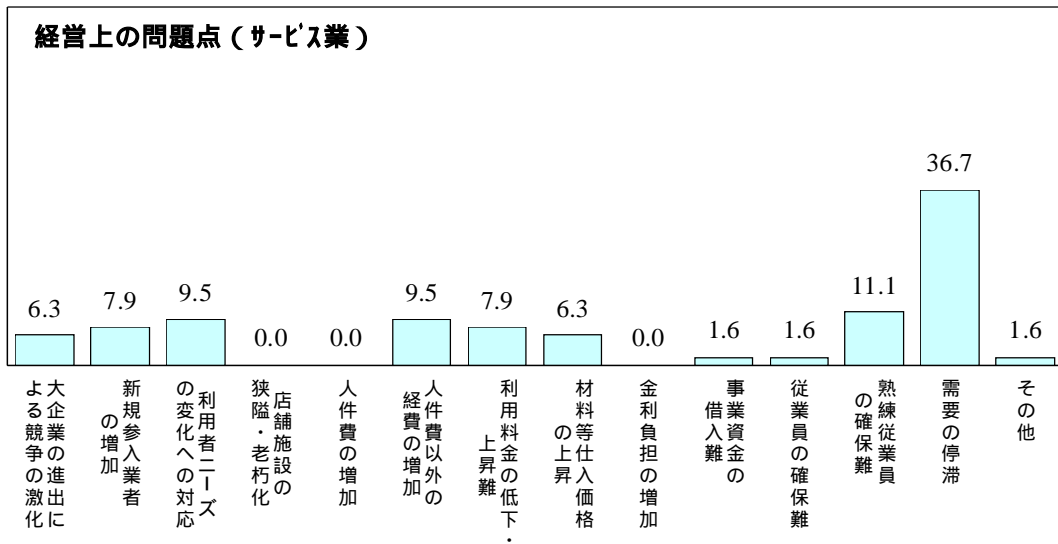
(5) サービス業



採 算 (サービス業 D・I)  
(黒字 - 赤字)



経営上の問題点



その他 (D・I値)

	今 期		来 期 (見通し)
	(前年同期比)	(前期比)	
資 金 繰 り	23.2	34.8	27.5 (前年同期比)
長期資金借入難度	-----	25.0	18.7 (今期比)
短期 "	-----	19.7	16.4 (今期比)
利 用 客 数	36.2	43.0	37.5 (前年同期比)

# 製造業

## 1. 売上・採算・資金繰り等の状況

	今期(前年同期比)					来期(対前年同期比見通し)				
	企業数	↗	↘	D I		企業数	↗	↘	D I	
売上(加工)額	62	30.6	33.9	35.5	-4.9	62	19.4	53.2	27.4	-8.0
売上(加工)単価	62	9.7	62.9	27.4	-17.7	62	11.3	71.0	17.7	-6.4
売上(加工)数量	60	28.3	38.4	33.3	-5.0	60	20.0	55.0	25.0	-5.0
資金繰り	62	9.7	64.5	25.8	-16.1	62	9.7	69.3	21.0	-11.3
輸出額	8	25.0	75.0	0.0	25.0	11	27.3	72.7	0.0	27.3
原材料仕入単価	60	53.3	45.0	1.7	51.6	59	49.2	50.8	0.0	49.2
原材料在庫数量	57	7.0	80.7	12.3	-5.3	57	5.3	87.7	7.0	-1.7
製品在庫数量	54	7.4	66.7	25.9	-18.5	55	1.8	80.0	18.2	-16.4
採算(経常利益)	60	10.0	46.7	43.3	-33.3	60	10.0	56.7	33.3	-23.3
従業員(含臨時・パート)	62	9.7	70.9	19.4	-9.7	60	11.7	71.6	16.7	-5.0
設備操業率	61	11.5	57.4	31.1	-19.6	60	11.7	56.6	31.7	-20.0
引合	60	18.3	41.7	40.0	-21.7					
受注残	55	12.7	49.1	38.2	-25.5					
業況(自社)	62	12.9	51.6	35.5	-22.6	52	15.4	57.7	26.9	-11.5

	今期(前年比)					来期(対当期比見通し)				
	企業数	↗	↘	D I		企業数	↗	↘	D I	
売上(加工)額	62	12.9	32.3	54.8	-41.9					
売上(加工)単価	61	6.6	75.4	18.0	-11.4					
売上(加工)数量	60	16.7	35.0	48.3	-31.6					
資金繰り	61	8.2	67.2	24.6	-16.4					
業況(自社)	60	11.7	53.3	35.0	-23.3	61	24.6	52.4	23.0	1.6
受取手形期間	48	2.1	97.9	0.0	2.1	48	4.2	93.7	2.1	2.1
長期資金借入難度	60	5.0	83.3	11.7	-6.7	60	5.0	85.0	10.0	-5.0
短期資金借入難度(含手形割引)	57	5.3	80.7	14.0	-8.7	57	5.3	80.7	14.0	-8.7
借入金	59	11.9	88.1	0.0	11.9	59	11.9	88.1	0.0	11.9

	今期の水準				
	企業数	↗	↘	D I	
業況(自社)	60	18.3	35.0	46.7	-28.4
生産に対する原材料在庫	58	13.8	84.5	1.7	12.1
売上に対する製品在庫	55	9.1	89.1	1.8	7.3
採算(経常利益)	62	9.7	58.0	32.3	-22.6
引合	59	18.6	37.3	44.1	-25.5
生産設備	62	12.9	79.0	8.1	4.8
従業員(含臨時・パート)	62	9.7	85.5	4.8	4.9

上2表

↗: 増加・上昇・好転・長期化・容易

-: 不変

↘: 不足・低下・悪化・短期化・困難

左表

↗: 良い・過剰・黒字・活発

-: ぶつう・適正・収支トントン・ぶつう

↘: 悪い・不足・赤字・低調

## 2. 新規設備投資

	企業数	実施・計画している	土地	工場	生産設備	車両・運搬具	付帯施設	O機	A器	福利厚生施設	その他	実施・計画していない
今期	61	19.7	0.0	33.3	50.0	25.0	8.3	33.3	0.0	0.0	0.0	80.3
来期	62	17.7	0.0	9.1	63.6	27.3	9.1	27.3	0.0	9.1	82.3	

## 3. 経営上の問題

企業数	57			
経営上の問題	1位	2位	3位	1~3位
大企業の進出による競争の激化	3.5	5.3	0.0	8.8
新規参入業者の増加	1.8	1.8	0.0	3.5
製品ニーズの変化への対応	5.3	10.5	5.3	21.1
生産設備の不足・老朽化	1.8	0.0	10.5	12.3
生産設備の過剰	0.0	0.0	0.0	0.0
原材料価格の上昇	17.3	22.8	7.0	47.4
原材料の不足	0.0	0.0	0.0	0.0
人件費の増加	0.0	5.3	12.3	17.5
原材料費・人件費以外の経費の増加	1.8	1.8	3.5	7.0
製品(加工)単価の低下・上昇難	8.8	29.8	12.3	50.9
金利負担の増加	1.8	0.0	1.8	3.5
取引条件の悪化	3.5	7.0	7.0	17.5
事業資金の借入難	1.8	1.8	1.8	5.3
従業員の確保難	0.0	1.8	0.0	1.8
熟練技術者の確保難	8.8	0.0	3.5	12.3
需要の停滞	42.0	3.5	8.8	54.4
その他	1.8	0.0	1.8	3.5

# 建設業

## 1. 売上・採算・資金繰り等の状況

	今期（前年同期比）					来期（対前年同期比見通し）				
	企業数	↗		↘	D I	企業数	↗		↘	D I
完成工事（請負工事）額	70	17.1	35.7	47.2	-30.1	70	11.4	45.7	42.9	-31.5
資金繰り	68	8.8	72.1	19.1	-10.3	67	4.5	79.1	16.4	-11.9
受注（新規契約工事）額	70	17.1	35.7	47.2	-30.1	70	17.1	40.0	42.9	-25.8
材料仕入単価	69	37.7	56.5	5.8	31.9	69	33.3	63.8	2.9	30.4
採算（経常利益）	70	11.4	37.1	51.5	-40.1	70	11.4	44.3	44.3	-32.9
従業員（含臨時・パート）	68	10.3	77.9	11.8	-1.5	68	8.8	78.0	13.2	-4.4
引合	60	15.0	55.0	30.0	-15.0					
契約残（未消化工事高）	68	7.4	48.5	44.1	-36.7					
業況（自社）	70	11.4	45.7	42.9	-31.5	66	15.2	50.0	34.8	-19.6

	今期（前年比）					来期（対当期比見通し）				
	企業数	↗		↘	D I	企業数	↗		↘	D I
完成工事（請負工事）額	70	11.4	31.4	57.2	-45.8					
資金繰り	67	4.5	70.1	25.4	-20.9					
業況（自社）	70	7.1	47.2	45.7	-38.6	68	26.5	42.6	30.9	-4.4
受取手形期間	59	1.7	98.3	0.0	1.7	59	0.0	100.0	0.0	0.0
長期資金借入難度	62	11.3	80.6	8.1	3.2	62	9.7	79.0	11.3	-1.6
短期資金借入難度（含手形割引）	65	15.4	75.4	9.2	6.2	65	12.3	75.4	12.3	0.0
借入金利	62	6.5	90.3	3.2	3.3	61	11.5	85.2	3.3	8.2

	今期の水準				
	企業数	↗		↘	D I
業況（自社）	69	11.6	47.8	40.6	-29.0
採算（経常利益）	69	15.9	56.6	27.5	-11.6
引合	62	8.1	56.4	35.5	-27.4
従業員（含臨時・パート）	68	10.3	79.4	10.3	0.0

上2表

↗: 増加・上昇・好転・長期化・容易

-: 不変

↘: 不足・低下・悪化・短期化・困難

左表

↗: 良い・過剰・黒字

-: ふつう・適正・収支トントン・ふつう

↘: 悪い・不足・赤字

↘: 活発

↘: 低調

## 2. 新規設備投資

	企業数	実施・ 計画している	土地	建物	建設設備	車両・ 運搬具	付帯 施設	O 機	A 器	福利厚生 施設	その他	実施・ 計画していない
今期	69	2.9	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	97.1
来期	69	5.8	25.0	25.0	0.0	25.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	94.2

## 3. 経営上の問題

企業数	65			
経営上の問題	1位	2位	3位	1~3位
大企業の進出による競争の激化	6.2	6.2	6.2	18.5
新規参入業者の増加	7.7	3.1	3.1	13.8
材料単価の上昇	4.6	9.2	6.2	20.0
材料の入手難	0.0	0.0	0.0	0.0
人件費の増加	0.0	1.5	0.0	1.5
材料費・人件費以外の経費の増加	1.5	1.5	6.2	9.2
請負単価の低下・上昇難	26.2	16.9	16.9	60.0
下請単価の上昇	0.0	3.1	0.0	3.1
金利負担の増加	1.5	0.0	0.0	1.5
取引条件の悪化	3.1	6.2	7.7	16.9
事業資金の借入難	3.1	0.0	3.1	6.2
従業員の確保難	0.0	0.0	4.6	4.6
熟練技術者の確保難	0.0	1.5	4.6	6.2
下請業者の確保難	1.5	1.5	0.0	3.1
官公需要の停滞	29.2	16.9	12.3	58.5
民間需要の停滞	15.4	29.2	13.8	58.5
その他	0.0	0.0	0.0	0.0

# 卸 売 業

## 1. 売上・採算・資金繰り等の状況

	今期（前年同期比）					来期（対前年同期比見通し）				
	企業数	↗		↘	D I	企業数	↗		↘	D I
売 上 額	84	13.1	36.9	50.0	-36.9	81	12.3	48.2	39.5	-27.2
売 上 単 価	83	8.4	67.5	24.1	-15.7	81	7.4	67.9	24.7	-17.3
資 金 繰 り	83	3.6	74.7	21.7	-18.1	81	6.2	74.0	19.8	-13.6
商 品 仕 入 単 価	84	25.0	57.1	17.9	7.1	82	28.0	57.4	14.6	13.4
商 品 仕 入 数 量	84	14.3	41.7	44.0	-29.7	82	11.0	47.5	41.5	-30.5
商 品 在 庫 数 量	84	13.1	57.1	29.8	-16.7	82	12.2	59.8	28.0	-15.8
採 算（経常利益）	84	4.8	51.2	44.0	-39.2	82	7.3	59.8	32.9	-25.6
従 業 員（含臨時・パート）	82	1.2	81.7	17.1	-15.9	81	2.5	83.9	13.6	-11.1
引 合 計	80	8.8	45.0	46.2	-37.4					
業 況（自 社）	84	4.8	54.7	40.5	-35.7	82	8.5	59.8	31.7	-23.2

	今 期（前 年 比）					来 期（対当期比見通し）				
	企業数	↗		↘	D I	企業数	↗		↘	D I
売 上 額	83	10.8	25.3	63.9	-53.1					
売 上 単 価	83	4.8	72.3	22.9	-18.1					
資 金 繰 り	83	2.4	73.5	24.1	-21.7					
業 況（自 社）	83	4.8	45.8	49.4	-44.6	82	29.3	52.4	18.3	11.0
受 取 手 形 期 間	71	4.2	94.4	1.4	2.8	70	2.9	97.1	0.0	2.9
長 期 資 金 借 入 難 度	79	5.1	88.6	6.3	-1.2	78	3.8	89.8	6.4	-2.6
短 期 資 金 借 入 難 度（含手形割引）	78	7.7	87.2	5.1	2.6	78	3.8	91.1	5.1	-1.3
借 入 金 利	80	10.0	86.2	3.8	6.2	80	8.8	89.9	1.3	7.5

	今 期 の 水 準				
	企業数	↗		↘	D I
業 況（自 社）	84	3.6	35.7	60.7	-57.1
売 上 に 対 す る 商 品 在 庫	84	23.8	73.8	2.4	21.4
採 算（経常利益）	83	4.8	63.9	31.3	-26.5
引 合 計	82	4.9	47.5	47.6	-42.7
従 業 員（含臨時・パート）	82	4.9	87.8	7.3	-2.4

上 2 表

↗: 増加・上昇・好転・長期化・容易  
 - : 不変  
 ↘: 不足・低下・悪化・短期化・困難

左 表

↗: 良い・過剰・黒字・活発  
 - : ふつう・適正・収支トントン・ふつう  
 ↘: 悪い・不足・赤字・低調

## 2. 新規設備投資

	企業数	実 施 ・ 計 画 し て いる	土 地	店 舗	倉 庫	車 両 ・ 付 帯 設 備	運 搬 具	O 機	A 器	福 利 厚 生 施 設	そ の 他	実 施 ・ 計 画 し て い な い
今 期	84	8.3	0.0	0.0	0.0	28.6	14.3	57.1	0.0	0.0	91.7	
来 期	82	15.9	15.4	7.7	15.4	30.8	7.7	30.8	0.0	23.1	84.1	

## 3. 経営上の問題

企 業 数	78			
経 営 上 の 問 題	1 位	2 位	3 位	1 ~ 3 位
大企業の進出による競争の激化	3.8	10.3	5.1	19.2
メーカーの進出による競争の激化	2.6	1.3	1.3	5.1
小売業の進出による競争の激化	6.4	5.1	5.1	16.7
新規参入業者の増加	1.3	0.0	7.7	9.0
店舗・倉庫の狭隘・老朽化	1.3	2.6	3.8	7.7
商品在庫の過剰	2.6	2.6	1.3	6.4
人件費の増加	1.3	2.6	0.0	3.8
人件費以外の経費の増加	3.8	7.7	7.7	19.2
販売単価の低下・上昇難	11.5	26.9	7.7	46.2
仕入単価の上昇	3.8	9.0	12.8	25.6
金利負担の増加	0.0	2.6	0.0	2.6
代金回収の悪化	2.6	9.0	3.8	15.4
事業資金の借入難	2.6	1.3	1.3	5.1
従業員の確保難	1.3	0.0	1.3	2.6
需要の停滞	53.8	5.1	12.8	71.8
その他	1.3	2.6	1.3	5.1

# 小 売 業

## 1. 売上・採算・資金繰り等の状況

	今期（前年同期比）					来期（対前年同期比見通し）				
	企業数	↗		↘	D I	企業数	↗		↘	D I
売上額	96	15.6	39.6	44.8	-29.2	96	13.5	58.4	28.1	-14.6
客単価	96	12.5	50.0	37.5	-25.0	96	7.3	61.4	31.3	-24.0
客数	96	10.4	39.6	50.0	-39.6	96	8.3	58.4	33.3	-25.0
資金繰り	95	6.3	64.2	29.5	-23.2	95	4.2	70.5	25.3	-21.1
商品仕入単価	96	18.8	59.3	21.9	-3.1	96	10.4	69.8	19.8	-9.4
商品仕入額	96	14.6	39.6	45.8	-31.2	96	10.4	55.2	34.4	-24.0
商品在庫数量	96	6.3	55.2	38.5	-32.2	96	5.2	63.5	31.3	-26.1
採算（経常利益）	95	7.4	44.2	48.4	-41.0	95	4.2	60.0	35.8	-31.6
従業員（含臨時・パート）	92	4.3	88.1	7.6	-3.3	92	2.2	85.8	12.0	-9.8
業況（自社）	96	5.2	51.0	43.8	-38.6	96	8.3	61.5	30.2	-21.9

	今期（前年比）					来期（対当期比見通し）				
	企業数	↗		↘	D I	企業数	↗		↘	D I
売上額	96	14.6	29.2	56.2	-41.6					
客単価	96	11.5	46.8	41.7	-30.2					
客数	96	7.3	36.5	56.2	-48.9					
資金繰り	95	4.2	64.2	31.6	-27.4					
業況（自社）	92	7.6	46.7	45.7	-38.1	93	22.6	55.9	21.5	1.1
長期資金借入難度	83	3.6	79.5	16.9	-13.3	83	3.6	77.1	19.3	-15.7
短期資金借入難度（含手形割引）	81	7.4	81.5	11.1	-3.7	81	4.9	82.8	12.3	-7.4
借入金	85	9.4	85.9	4.7	4.7	84	11.9	83.3	4.8	7.1

	今期の水準				
	企業数	↗		↘	D I
業況（自社）	95	5.3	45.3	49.4	-44.1
売上に対する原材料在庫	96	16.7	69.8	13.5	3.2
採算（経常利益）	96	11.5	55.2	33.3	-21.8
従業員（含臨時・パート）	92	6.5	82.6	10.9	-4.4

上 2 表

↗: 増加・上昇・好転・長期化・容易

-: 不変

↘: 不足・低下・悪化・短期化・困難

左 表

↗: 良い・過剰・黒字・活発

-: ぶつう・適正・収支トントン・ぶつう

↘: 悪い・不足・赤字・低調

## 2. 新規設備投資

	企業数	実施・計画している	土地	店舗	販売設備	車両・運搬具	付帯施設	O機	A器	福利厚生施設	その他	実施・計画していない
今期	92	2.2	0.0	50.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	97.8
来期	95	11.6	0.0	9.1	9.1	45.5	9.1	27.3	0.0	0.0	9.1	88.4

## 3. 経営上の問題

企業数	87	1位	2位	3位	1~3位
経営上の問題					
大・中型店の進出による競争の激化		30.1	13.8	4.6	48.3
同業者の進出		9.2	5.7	2.3	17.2
購買力の他地域への流出		8.0	12.6	3.4	24.1
消費者ニーズの変化への対応		9.2	13.8	13.8	36.8
店舗の狭隘・老朽化		0.0	2.3	2.3	4.6
駐車場の確保難		3.4	1.1	2.3	6.9
商品在庫の過剰		0.0	2.3	2.3	4.6
人件費の増加		0.0	1.1	1.1	2.3
人件費以外の経費の増加		5.7	4.6	4.6	14.9
販売単価の低下・上昇難		5.7	10.3	11.5	27.6
仕入単価の上昇		4.6	2.3	1.1	8.0
金利負担の増加		0.0	1.1	1.1	2.3
代金回収の悪化		1.1	3.4	0.0	4.6
事業資金の借入難		0.0	2.3	4.6	6.9
従業員の確保難		3.4	0.0	2.3	5.7
需要の停滞		18.5	17.2	18.4	54.0
その他		1.1	1.1	4.6	6.9

# サービス業

## 1. 売上・採算・資金繰り等の状況

	今期(前年同期比)					来期(対前年同期比見通し)				
	企業数	↗	↘	DI		企業数	↗	↘	DI	
売上(収入)額	73	12.3	49.3	38.4	-26.1	73	8.2	56.2	35.6	-27.4
客単価	71	4.2	76.1	19.7	-15.5	71	5.6	71.9	22.5	-16.9
利用客数	72	6.9	50.0	43.1	-36.2	72	1.4	59.7	38.9	-37.5
資金繰り	69	7.2	62.4	30.4	-23.2	69	2.9	66.7	30.4	-27.5
仕入単価(材料等)	69	26.1	68.1	5.8	20.3	68	23.5	70.6	5.9	17.6
採算(経常利益)	71	7.0	55.0	38.0	-31.0	70	2.9	60.0	37.1	-34.2
従業員(含臨時・パート)	66	4.5	75.8	19.7	-15.2	65	3.1	87.7	9.2	-6.1
業況(自社)	73	5.5	52.0	42.5	-37.0	73	4.1	56.2	39.7	-35.6

	今期(前年比)				来期(対当期比見通し)					
	企業数	↗	↘	DI	企業数	↗	↘	DI		
売上(収入)額	73	12.3	35.6	52.1	-39.8					
客単価	71	4.2	71.9	23.9	-19.7					
利用客数	72	1.4	54.2	44.4	-43.0					
資金繰り	69	1.4	62.4	36.2	-34.8					
業況(自社)	73	4.1	48.0	47.9	-43.8	73	16.4	54.8	28.8	-12.4
長期資金借入難度	64	3.1	68.8	28.1	-25.0	64	1.6	78.1	20.3	-18.7
短期資金借入難度(含手形割引)	61	3.3	73.7	23.0	-19.7	61	3.3	77.0	19.7	-16.4
借入金	64	4.7	89.0	6.3	-1.6	64	4.7	90.6	4.7	0.0

	今期の水準				
	企業数	↗	↘	DI	
業況(自社)	70	2.9	58.5	38.6	-35.7
採算(経常利益)	69	4.3	66.7	29.0	-24.7
従業員(含臨時・パート)	66	3.0	90.9	6.1	-3.1

上2表

↗: 増加・上昇・好転・長期化・容易  
 - : 不変  
 ↘: 不足・低下・悪化・短期化・困難

左表

↗: 良い・過剰・黒字・活発  
 - : ふつう・適正・収支トントン・ふつう  
 ↘: 悪い・不足・赤字・低調

## 2. 新規設備投資

	企業数	実施・計画している	土地	建物	サービス設備	車両・運搬具	付帯施設	O機	A器	福利厚生施設	その他	実施・計画していない
今期	73	11.0	0.0	12.5	12.5	25.0	12.5	37.5	0.0	12.5	89.0	
来期	73	11.0	0.0	50.0	37.5	0.0	37.5	12.5	0.0	25.0	89.0	

## 3. 経営上の問題

企業数	63			
経営上の問題	1位	2位	3位	1~3位
大企業の進出による競争の激化	6.3	6.3	7.9	20.6
新規参入業者の増加	7.9	4.8	7.9	20.6
利用者ニーズの変化への対応	9.5	23.8	7.9	41.3
店舗施設の狭隘・老朽化	0.0	4.8	4.8	9.5
人件費の増加	0.0	1.6	4.8	6.3
人件費以外の経費の増加	9.5	6.3	6.3	22.2
利用料金の低下・上昇難	7.9	15.9	3.2	27.0
材料等仕入単価の上昇	6.3	6.3	1.6	14.3
金利負担の増加	0.0	0.0	3.2	3.2
事業資金の借入難	1.6	0.0	7.9	9.5
従業員の確保難	1.6	6.3	3.2	11.1
熟練従業員の確保難	11.1	6.3	7.9	25.4
需要の停滞	36.7	12.7	14.3	63.5
その他	1.6	0.0	4.8	6.3